ONKYO®

DVDプレーヤー

DV-SP501

取扱説明書

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

使ってみよう

始めに

接続する

初めの設定

その他

DVDを再生する

いろいろな機能

ビデオCD、CD、MP3/WMAディスクを再生する

JPEGファイルを再生する

各種設定

特長

■DVDビデオ、DVD-R/DVD-RW、JPEG、MP3 /WMA* CD、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD対応

■DVDビデオのハイクオリティサウンドを引き出す192kHz/24ビット D/Aコンバーター搭載

■ドルビー**デジタル/DTS（ディーティーエス）***/PCM デジタル音声出力端子（光：2 同軸：1）装備

■高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備

■高精細映像を実現する54MHz/10ビット ビデオD/Aコンバーター搭載

■対話形式で簡単に初期設定できるセットアップナビゲーター

■停止後に続きから再生できるリジューム機能

■デジタル信号から、ピュアなアナログ信号を生成するVLSC（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリィ））回路搭載

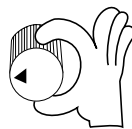
Designed for Windows Media™

* Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*** 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。“DTS”、“DTS Digital Out”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表わす記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの底部に通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機械内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ディスクについての予備知識

■ 再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
  ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
DVDビデオ DVD VIDEO		DVD-R *1 DVD R	DVD-RW *2 DVD RW
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	CD *3 COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-R *4 COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	CD-RW *4 COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

*1 DVD-Rの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたDVD-Rを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rを再生することはできません。

*2 DVD-RWの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）、またはビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-RWを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録についてはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

*3 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

*4 CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、WMAやMP3などの音楽データ、またはJPEGの静止画像、ビデオCDが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ・スーパーオーディオCD・DVD-ROM・DVD-RAM・DVD+R・DVD+RW
- フォトCD・CD-Gなど

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16 : 9 LB	記録されている映像のアスペクト比（☞97ページ）
2 ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、再生できない旨の表示が画面にでます。

■ DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に、禁止されている旨の表示が出ます。
また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に、プレーヤーによって禁止されている旨の表示が出ます。

■ ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン 2.0）に対応しています。（PBCは、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

DV-SP501(10-21)(SN29343492) 11 03.5.19, 8:38 AM

ディスクについての予備知識

■ MP3の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（☞97ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499フォルダー、999トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

■ WMAの再生について

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.8、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイル、またはサンプリング周波数が32kHzでも記録ビットレートが20kbpsのWMAファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（☞97ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499フォルダー、999トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

■ JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.1*に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、499フォルダー、999ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

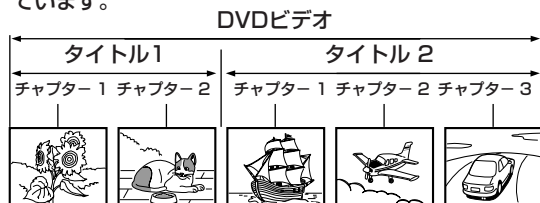
 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格（Exif）Ver2.1、JEIDA-49-1998
 (社)電子情報技術産業協会 JEITA

■ MP3/WMA/JPEGの再生についてのご注意

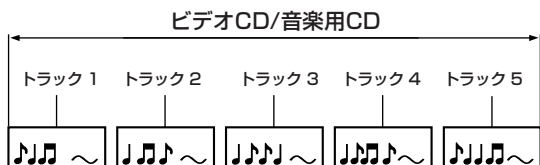
- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機はファイナライズしていない音楽CD フォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CDフォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

ディスクについての予備知識

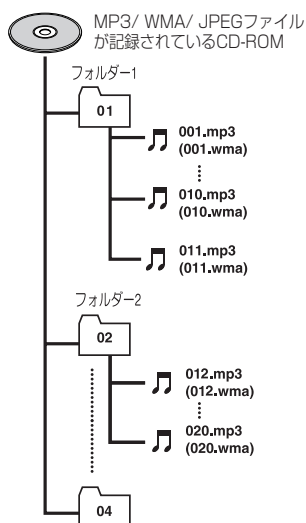
■ ディスクに関する用語について

- DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

- ビデオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック：ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

- WMA/MP3/JPGについて

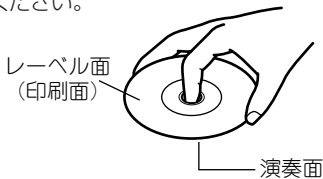
WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます（半角英数字で入力された文字のみ）。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は「F_001」/「T_001」/「FL_001」のように表示されることがあります。

■ ディスクについてのご注意

異形ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

レーベル面
（印刷面）
演奏面

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号がはいっているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

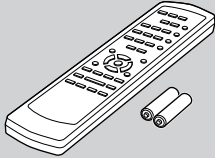
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1〜2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

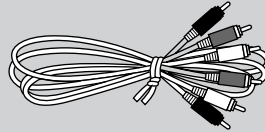
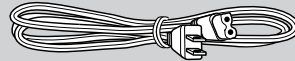
箱を開けたら、まず

■ 付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
［　］内の数字は数量を表わしています。

●リモコン(RC-523DV) [1]
●単3乾電池 [2]

●Sビデオコード(1.5m) [1]
Sビデオ映像を送るコードです。

●RIケーブル(0.8m) [1]
RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

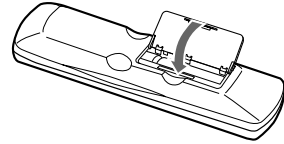
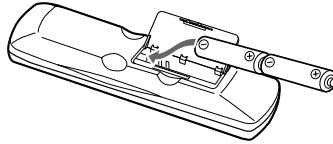
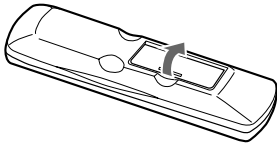
●オーディオ・ビデオ用ピンコード（1.5m）[1]
アナログ音声および映像を送るコードです。

●電源コード (2.0m)[1]

●取扱説明書　（本書）[1]
●保証書 [1]
●オンキヨーご相談窓口
・修理窓口のご案内 [1]

■ リモコンを準備する

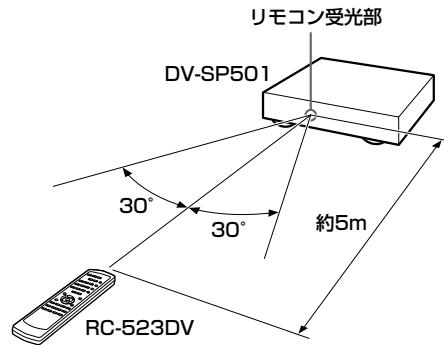
乾電池を入れる

①ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずす。

② 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個をプラス⊕、マイナス⊖を間違えないように入れる。

③ カバーを閉める。

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。
- 電池の極性(⊕、⊖)は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称と働き

■ 前面パネル

スタンバイ
STANDBYインジケーター
スタンバイ時に点灯し、電源を入れると消灯します。

スタンバイ　オン
STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

パワー
POWERスイッチ
主電源のオン/オフを切り換えます。

リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

ディスクトレイ
ディスクを入れます。

オープン/クローズ
⏏ボタン
ディスクトレイを開閉します。

ポーズ
❚❚ PAUSEボタン
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

ストップ
■ STOPボタン
ディスクの再生を止めます。

プレイ
► PLAYボタン
ディスクを再生します。

表示部
（次ページ参照）

⏮ ⏭ ボタン
場面や曲の頭出しをします。押し続けると、早送りや早戻しになります。

ディスプレイ
DISPLAYボタン
表示部の情報を切り換えます。

ディマー
DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。

クリア
CLEARボタン
決定した内容を取り消します。

プレイ　モード
PLAY MODEボタン
プレイモード画面を表示します。

トップ　メニュー
TOP MENUボタン
トップメニュー画面を表示します。

リターン
RETURNボタン
設定画面に戻します。

メニュー
MENUボタン
メニュー画面を表示します。

セットアップ
SETUPボタン
設定画面を表示します。

エンター
▲/▼/◄/►/ENTERボタン
カーソルを上下左右に移動します。
中央を押すと選択した項目を決定します。

■ 表示部

ディスクインジケーター
ディスクトレイにセットされている
ディスクの種類を表示します。

GUI インジケーター（グラフィカル ユーザー インターフェース）
初期設定、プログラム、画質調整、ディスク情報などの画面が表示されているとき点灯します。

DD Dインジケーター（ドルビーデジタル）
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

TITLE インジケーター（タイトル）

TRACK CHPインジケーター（トラック チャプター）

リピートインジケーター

アングル インジケーター

PROGRESSIVE インジケーター（プログレッシブ）
映像出力でプログレッシブが選ばれているときに点灯します。

REMAIN インジケーター（リメイン）

►、❚❚ インジケーター（プレイ ポーズ）

dts インジケーター（ディーティーエス）
DTS音声で収録されているDVDを再生しているときに点灯します。

多目的表示部
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。

各部の名称と働き

■ 後面パネル

AUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL)端子

デジタル入力端子付きのAVアンプ、MDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

RI 端子

RI 端子付きのオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

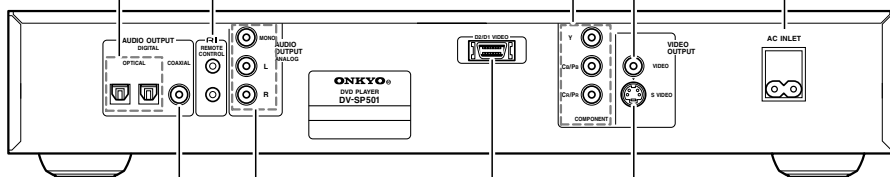
COMPONENT VIDEO OUTPUT端子

コンポーネント映像が出力される端子です。
コンポーネント映像入力端子のあるテレビやAVアンプなどと接続します。
市販のコンポーネントビデオコードを使って接続します。

VIDEO OUTPUT端子

映像が出力される端子です。
テレビやAVアンプなどと接続するときに、付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。

AC INLET

付属の電源コードを接続します。

AUDIO OUTPUT ANALOG（MONO/L/R)端子

アナログ音声が出力される端子です。付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。
モノラル信号の場合はMONO端子に接続してください。

S VIDEO OUTPUT端子

Sビデオ映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビやAVアンプなどと接続するときに、付属のSビデオコードを使って接続します。

AUDIO OUTPUT DIGITAL（COAXIAL)端子

デジタル入力端子付きのAVアンプ、MDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。
市販のオーディオ用同軸デジタルケーブルを使って接続します。

D2/D1 VIDEO 端子

D映像が出力される端子です。
D入力端子のあるテレビやAVアンプなどと接続するときに、市販のD映像ケーブルを使って接続します。

DV-SP501(10-21)(SN29343492) 20 03.5.19, 8:38 AM

■ リモコン（RC-523DV）

オープン　クローズ
OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを開閉します。

スタンバイ
STANDBYボタン
電源をスタンバイ状態にします。

オン
ONボタン
電源をオンにします。

リピート
REPEATボタン
くり返し再生を始めます。

A-Bボタン
A-Bくり返し再生を始めます。

数字ボタン
場面や音声、字幕、項目、暗証番号などを選びます。

トップ　メニュー
TOP MENUボタン
トップメニュー画面を表示します。

エンター
ENTERボタン
設定した内容を決定します。

▲/▼/◄/► ボタン
カーソルを上下左右に移動します。

リターン
RETURNボタン
設定画面に戻します。

オーディオ
AUDIOボタン
言語または音声を切り換えます。

アングル
ANGLEボタン
アングルを切り換えます。

ランダム
RANDOMボタン
ランダム再生を始めます。

プレイ　モード
PLAY MODEボタン
プレイモード画面を表示します。

ディスプレイ
DISPLAYボタン
表示情報を切り換えます。

ディマー
DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。

クリア
CLEARボタン
決定した内容を取り消します。

メニュー
MENUボタン
メニュー画面を表示します。

セットアップ
SETUPボタン
設定画面を表示します。

ズーム
ZOOMボタン
画面をズーム（拡大）します。

サブタイトル
SUBTITLEボタン
字幕言語を切り換えます。

ストップ
■ ボタン：再生を停止します。

プレイ
► ボタン：再生を始めます。

ポーズ
❚❚ ボタン：再生を一時停止します。

◄◄/◄❚❚　❚❚►/►► ボタン：
再生中に押すと、映像や音声の早送り／早戻しをします。一時停止中に押すと、コマ送り／コマ戻しまた、押し続けるとスロー再生をします。

❙◄◄ ►►❙ ボタン：
場面や曲の頭出しをします。

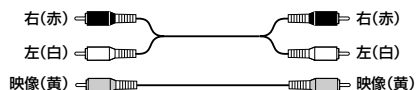
接続する

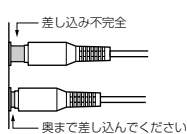
接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

ビデオ用、オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネル、黄色のコネクター（Vの表示）をビデオチャンネルに接続してください。

右(赤) 右(赤)
左(白) 左(白)
映像(黄) 映像(黄)

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

差し込み不完全
奥まで差し込んでください

- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

■映像/音声ケーブルと端子の種類について

映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
D端子用 接続コード			Sビデオより良い画質が得られます。映像機器の制御信号(アスペクト比など)を送ることができます。
コンポーネント ビデオコード	CR CB Y CR CB Y	Y CB/PB CR/PR	Sビデオより良い画質が得られます。
Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像より良い画質が得られます。
ビデオコード (コンポジット)		VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル (OPTICAL)		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル信号を伝送します。
同軸デジタルケーブル (COAXIAL)		COAXIAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声を伝送します。
オーディオ用 ピンコード		AUDIO L R	アナログ音声を伝送します。

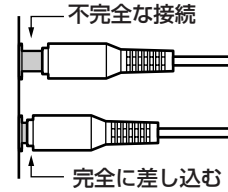
DV-SP501(22-27)(SN29343492) 22 03.5.19, 8:39 AM

■ テレビと接続する

映像接続と音声接続が必要です。

不完全な接続

完全に差し込む

- 映像接続にはD端子接続、コンポーネントビデオ端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の4種類あります。
  テレビに応じていずれか1種類の接続を行ってください。
- 音声接続はテレビの音声入力端子と本機のAUDIO OUTPUT ANALOG 端子を接続します。
- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- 本機はテレビと直接接続してください。ビデオデッキやビデオ内蔵テレビなどを経由して接続した場合、再生すると画像が歪むことがあります。
- プラグは奥までしっかり接続してください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。

テレビにD入力端子があるとき

市販のD端子接続コードでD端子を接続してください。D2/D1接続をすると、Sビデオ端子接続よりさらによい映像を得ることができます。

ヒント　本機のD2/D1 VIDEO端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき

市販のコンポーネントビデオコードで、コンポーネントビデオ端子接続をしてください。Sビデオ端子接続よりさらによい映像を得ることができます。

テレビにSビデオ端子があるとき

テレビにSビデオ端子があるときは、付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。通常のビデオ接続よりもよい映像が得られます。

テレビのビデオ端子に接続する

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードでビデオ接続します。

■ 映像の出力方式を切り換えるには

本機とD端子接続または、コンポーネントビデオ端子接続したテレビがプログレッシブ入力対応テレビのとき、映像の出力方式(プログレッシブまたはインターレース)をセットアップ画面で切り換えることができます。(☞82ページ)

プログレッシブ：

きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビやプロジェクターと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE」が点灯します。

インターレース（お買い上げ時の設定)：

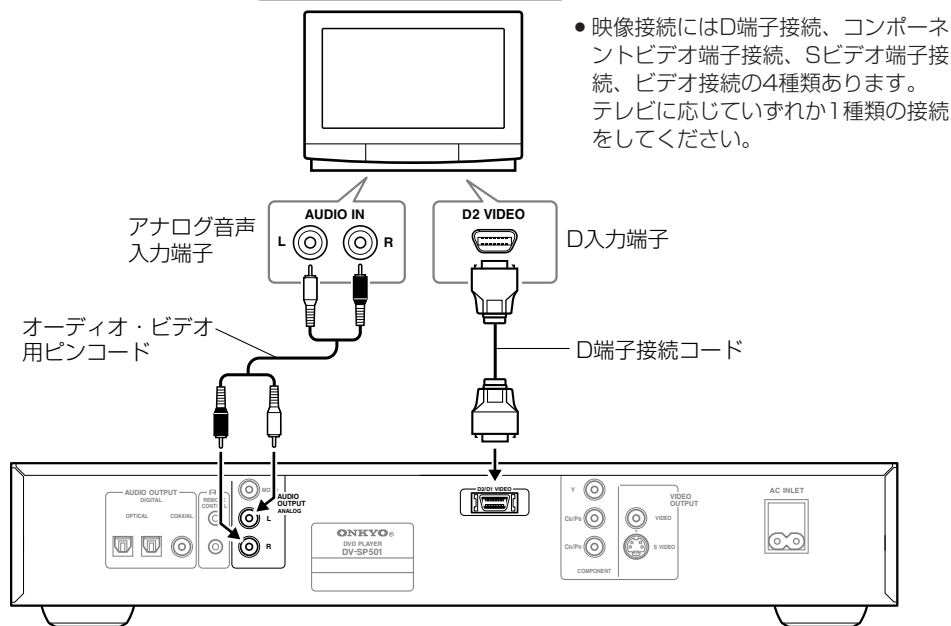
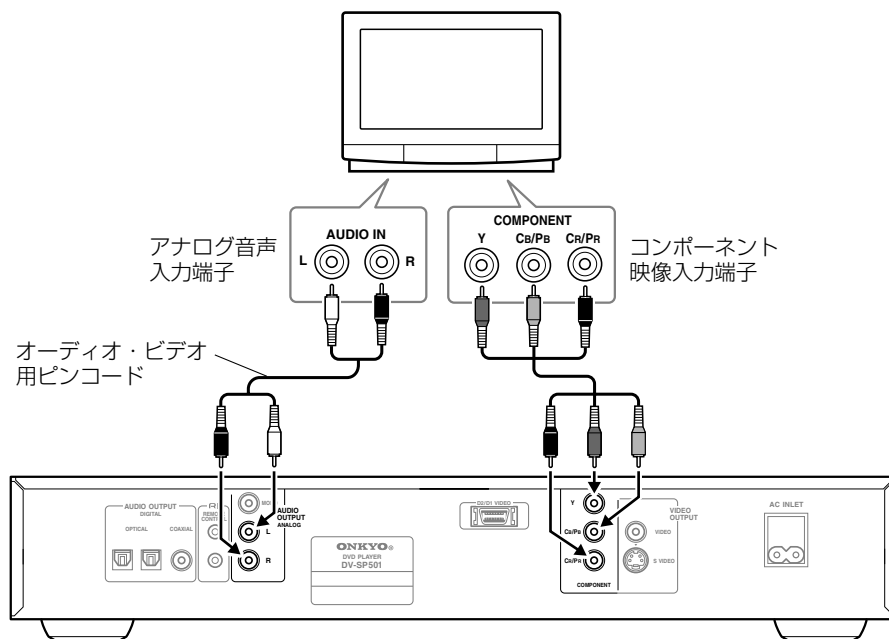
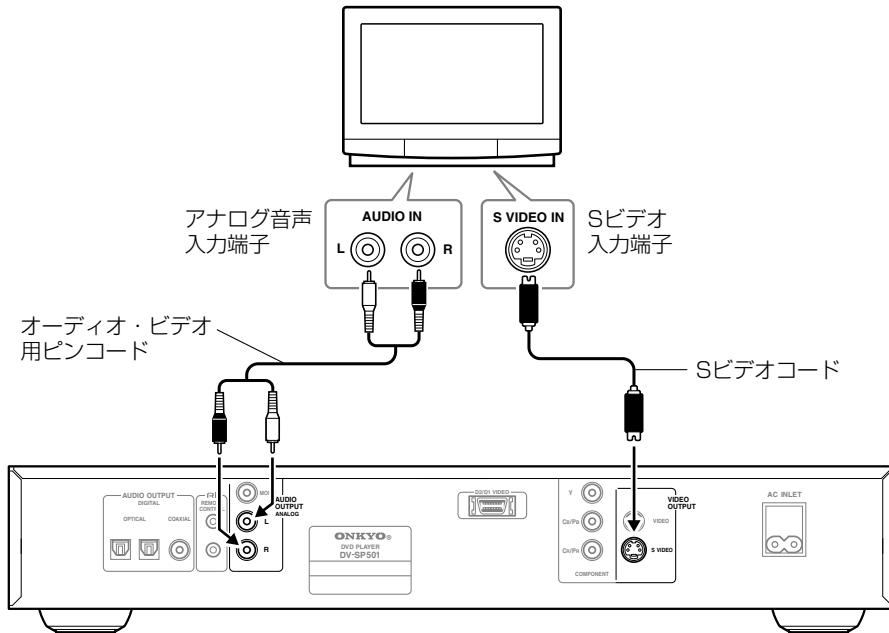
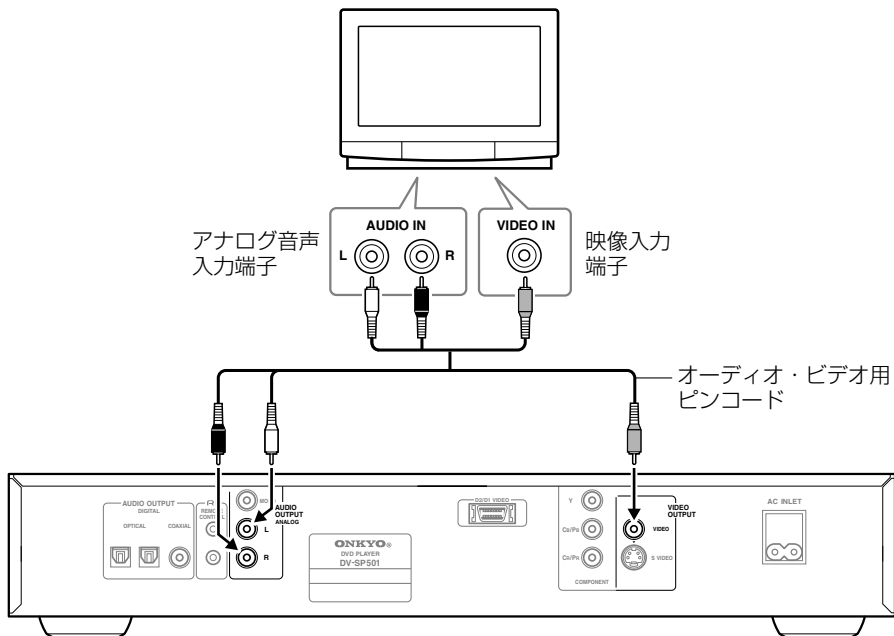
プログレッシブ入力に対応していないテレビやプロジェクターと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE」が消灯します。

ご注意
- プログレッシブ入力に対応していないテレビとD端子接続または、コンポーネントビデオ端子接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が出力されません。プログレッシブを解除してください。(☞82ページ)
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

テレビにD入力端子があるとき

● 映像接続にはD端子接続、コンポーネントビデオ端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の4種類あります。
テレビに応じていずれか1種類の接続をしてください。

テレビのコンポーネント端子と接続するとき

■ 市販のアンプと接続する

本機の音声は24、25ページの接続をすることで、テレビのスピーカーから出力できますが、本機を市販のアンプに接続することで、より高音質でダイナミックな音声を楽しむことができます。

アンプに映像入出力端子がない場合、映像端子はテレビと接続します。

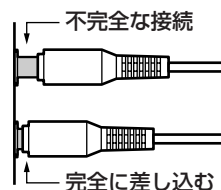
音声接続はデジタル接続またはアナログ接続の2種類があります。アンプに応じて接続してください。

- アンプの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、接続するすべての機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- ビデオ切り換え付きのアンプをご使用の場合は、映像信号はアンプを通してテレビに出力するようにしてください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

不完全な接続

完全に差し込む

ご注意

本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。

アンプのアナログ入力端子と接続する

アンプのアナログ音声入力端子と本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子を接続してください。

ヒント

アンプがドルビープロロジックに対応していれば、ドルビープロロジックサラウンド音声を再生することができます。

デジタル端子のあるアンプと接続する

市販のデジタルケーブル（光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブル）を使ってアンプのデジタル入力端子と本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） DIGITAL（デジタル）端子を接続してください。

アンプのデジタル入力端子の形状にあわせて、光（OPTICAL（オプティカル））または同軸（COAXIAL（コアキシャル））端子を接続してください。

デジタル端子の接続だけで、DVDビデオの5.1ch再生を楽しめますが、本機からアンプに接続しているMDレコーダーなどにアナログ録音するときなどのために、アナログ接続もしておくことをおすすめします。

■ RIケーブルの接続

付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製アンプまたはチューナーアンプを接続すると、アンプまたはチューナーアンプに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

デジタル端子のあるアンプと接続する

アンプのデジタル端子の形状に合わせて、光(OPTICAL)、同軸(COAXIAL)端子のどちらかに接続します。

光デジタル入力端子

DIGITAL IN OPTICAL

COAXIAL

同軸デジタル入力端子

ANALOG INPUT

R L

アナログ音声入力端子

同軸デジタルケーブル

RI ケーブル

光デジタルケーブル

オーディオ・ビデオ用ピンコード

AUDIO OUTPUT DIGITAL OPTICAL COAXIAL

REMOTE CONTROL

AUDIO OUTPUT ANALOG

ONKYO DVD PLAYER DV-SP501

D2/D1 VIDEO

Y CB/PB CR/PR COMPONENT

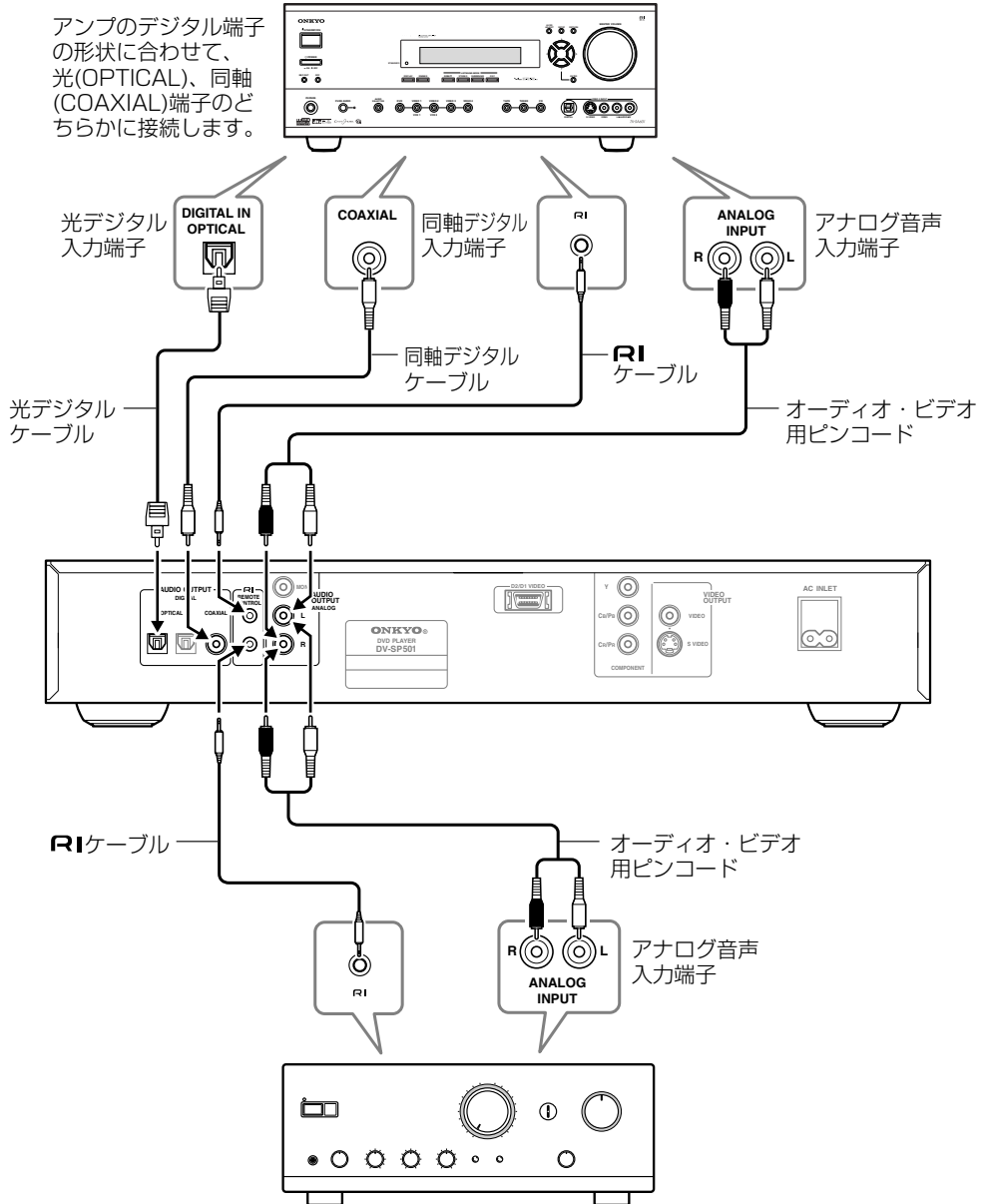
VIDEO OUTPUT VIDEO S VIDEO

AC INLET

RIケーブル

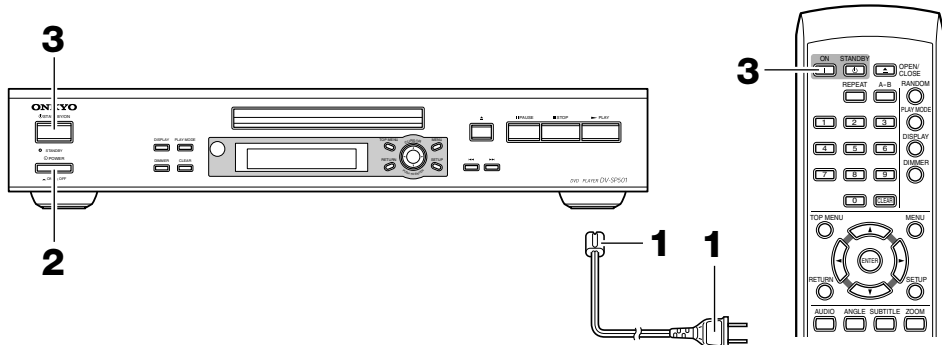
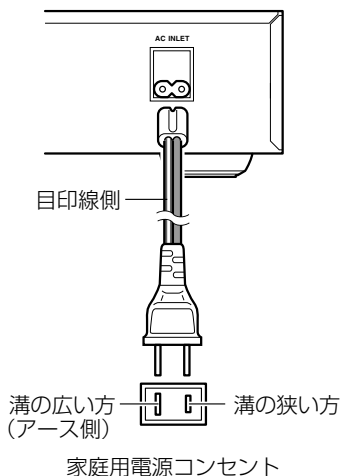
オーディオ・ビデオ用ピンコード

R L ANALOG INPUT

アナログ音声入力端子

アンプのアナログ入力端子と接続する

電源を入れる

接続する前に

- お買い上げ時、本機のPOWER(パワー)スイッチはON(オン)の状態になっています。電源コードを接続すると、STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯し、スタンバイ状態となります。
- 22～27ページの接続がすべて終了しているか確認してください。（本機はテレビ画面を使って設定や操作をします。テレビとビデオ接続は必ず行ってください。）
- 接続しているテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

1

付属の電源コードを本体後面のAC INLET(インレット)につなぎ、プラグを家庭用電源コンセントに接続する

- 付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
- 感電の原因となるため、電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。

ヒント **よりよい音で聞いていただくために**

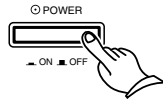
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線が入っている側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の広さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

オンキヨー製品の後面にある電源コンセントに接続する場合は、電源コードの目印線を電源コンセントの広い方（Ⓦマーク側）に合わせてください。

2

⊙POWER

ON OFF

本体のPOWER(パワー)スイッチを押して、主電源を入れる

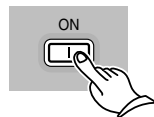
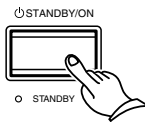
STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

- POWERスイッチが「OFF(オフ)」になっていると、リモコンのボタンは働きません。
- 主電源を切るには、もう一度POWERスイッチを押します。

3

⏻STANDBY/ON

STANDBY

ON

リモコン

本体のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンまたは、リモコンのON(オン)ボタンを押して、電源を入れる

表示部が点灯し、STANDBYインジケーターは消灯します。

ヒント

スタンバイ状態で、本体またはリモコンの►(プレイ)ボタンあるいは▲(オープン/クローズ)ボタンを押すと、電源が入ります。

初めの設定

■セットアップナビゲーターを使って設定する(この機能を再生中に使うことはできません。)

セットアップナビゲーターは基本的な設定を行います。より細やかな設定は初期設定画面で行います。対話形式で本機の設定を行います。オンスクリーンディスプレイ上に表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語(画面表示言語)→アンプとの接続→音声の選択

操作の前に

オンスクリーンディスプレイについて

本機は接続しているテレビの画面に各種再生操作、映像・音声などの各種設定操作を表示させ、テレビ画面上で簡単に操作ができるオンスクリーンディスプレイ機能を搭載しています。

セットアップナビゲーター画面などの画面表示について

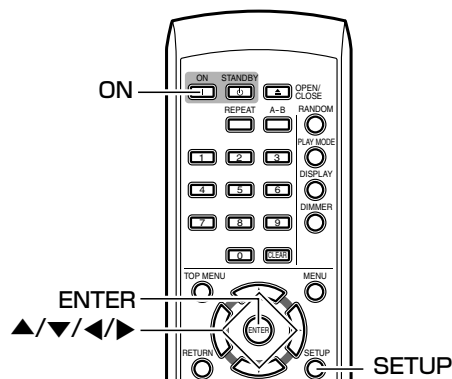
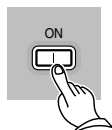
画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンの以下のボタンに対応しています。
また、画面下には選択している項目の簡単な説明が表示されますので、操作の参考にしてください。

画面表示	⬅➡⬆⬇	決定	設定	再生►	画面表示	戻る
リモコンのボタン	◀/▶/▲/▼	ENTER	SETUP	►	DISPLAY	RETURN

設定画面に戻るには

RETURNボタンを押します。

ヒント

本機のSTANDBY/ONボタン、SETUPボタン、▲/▼/◀/▶/ENTERボタンでも操作することができます。

1 ONボタンを押して、電源が入った状態にする

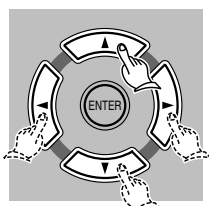
ディスクが入っているときはディスクを取り出してください。

2

SETUP

SETUP（セットアップ）ボタンを押して、テレビに設定画面を表示させる

音場設定 / 画質調整
プレイモード / ディスクナビゲーター
初期設定 / セットアップナビゲーター

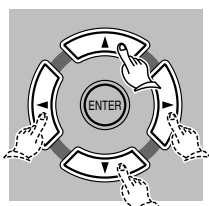
3

ENTER

▲/▼/◀/▶ボタンで「セットアップナビゲーター」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

音場設定 / 画質調整
プレイモード / ディスクナビゲーター
初期設定 / セットアップナビゲーター

ENTER

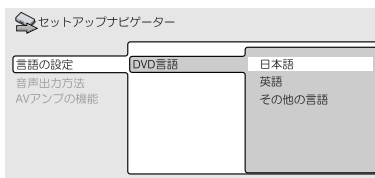
セットアップナビゲーターが開始されます。手順*4* 以降の質問に答え、設定を行ってください。

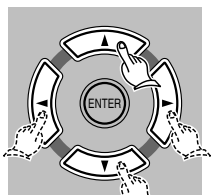
4 DVDで表示される言語を選ぶ

ENTER

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

日本語：DVDで表示される言語が日本語になります。
英　語：DVDで表示される言語が英語になります。
その他の言語：86ページの言語コード表から任意の言語を選びます。詳しくは、85ページをご覧ください。

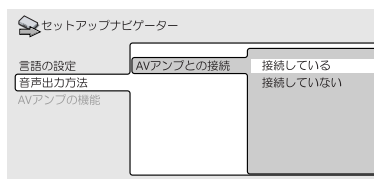
セットアップナビゲーター

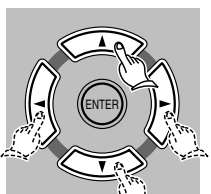
言語の設定 | DVD言語 | 日本語
音声出力方法 | | 英語
AVアンプの機能 | | その他の言語

ENTER

5 AVアンプに接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

接続している：「デジタル音声出力端子に接続しているかどうかを選ぶ」の項目に進みます。

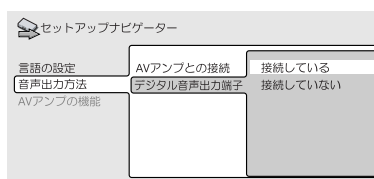
接続していない：「セットアップナビゲーターを終了する」へ進みます。

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
AVアンプとの接続
接続している
接続していない

- 「接続している」を選んだ場合は、手順***6*** に進みます。
- 「接続していない」を選んだ場合は、手順***11*** に進みます。

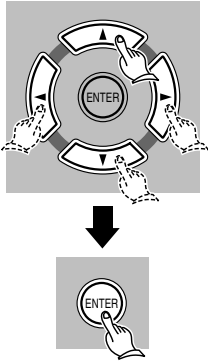
6 デジタル音声出力端子に接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

接続している：本機のデジタル出力端子に接続しているとき選択します。

接続していない：本機のデジタル出力端子に接続していないとき選択します。

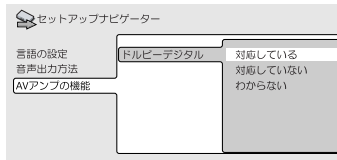
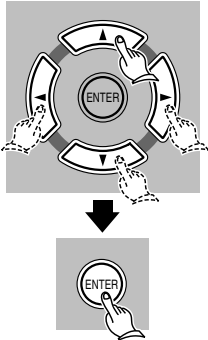
セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
AVアンプとの接続
デジタル音声出力端子
接続している
接続していない

- 「接続していない」を選んだ場合は、手順***11*** に進みます。
- 「接続している」を選んだ場合は、手順***7*** に進みます。

手順 *6*（32ページ）でデジタル音声出力端子に「接続していない」を選んだときは、手順 *7* からの質問は表示されません。手順 *11* に進みます。

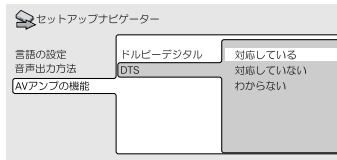
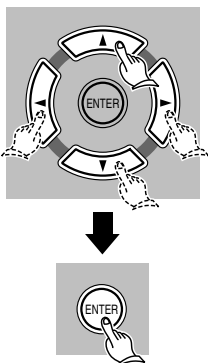
7 AVアンプがドルビーデジタルに対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

対応している　：ドルビーデジタル対応のとき選択します。
対応していない：ドルビーデジタルに対応していないとき選択します。
わからない　：ドルビーデジタル対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

- 「わからない」を選ぶと、「対応していない」と同じ設定になります。

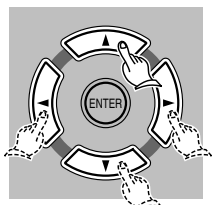
セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
ドルビーデジタル
対応している
対応していない
わからない

8 AVアンプがDTSに対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

対応している　：DTSに対応しているとき選択します。
対応していない：DTSに対応していないとき選択します。
わからない　：DTSに対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
ドルビーデジタル
DTS
対応している
対応していない
わからない

9 AVアンプがMPEG（エムペグ）音声に対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

対応している　：MPEGに対応しているとき選択します。
対応していない：MPEGに対応していないとき選択します。
わからない　：MPEG対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
ドルビーデジタル
DTS
MPEG
対応している
対応していない
わからない

10 AVアンプが96kHzリニアPCM音声に対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

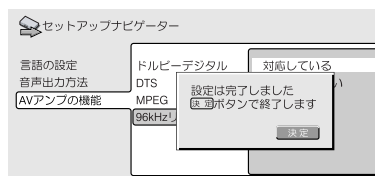
対応している ：96kHzリニアPCM音声に対応しているとき選択します。
対応していない ：96kHzリニアPCM音声に対応していないとき選択します。
わからない ：96kHzリニアPCM音声に対応しているかどうかわからないとき選択します。

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
ドルビーデジタル
DTS
MPEG
96kHzリニアPCM
対応している
対応していない
わからない

11 セットアップナビゲーターを終了する

ENTERボタンを押す

セットアップナビゲーターでの設定が完了し、セットアップナビゲーターが終了します。

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
AVアンプの機能
ドルビーデジタル
DTS
MPEG
96kHzリ
対応している
設定は完了しました
決 定ボタンで終了します
決 定

再生を始める前に

- DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMAディスク、JPEGディスク、音楽用CD以外は再生しないでください。（☞「再生できるディスクについて」10ページ）
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。（音楽用CDの通常再生のみ行うときは、必要ありません。）
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して適正な状態にしてください。

■ 本文の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

DVDビデオ　市販のDVDビデオ、またはビデオモード（DVDビデオフォーマット）にて記録されたDVD-R/RW

DVD-RW(VR)　VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）にて記録されたDVD-RW

ビデオCD　ビデオCD

CD(R/RW)　市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW

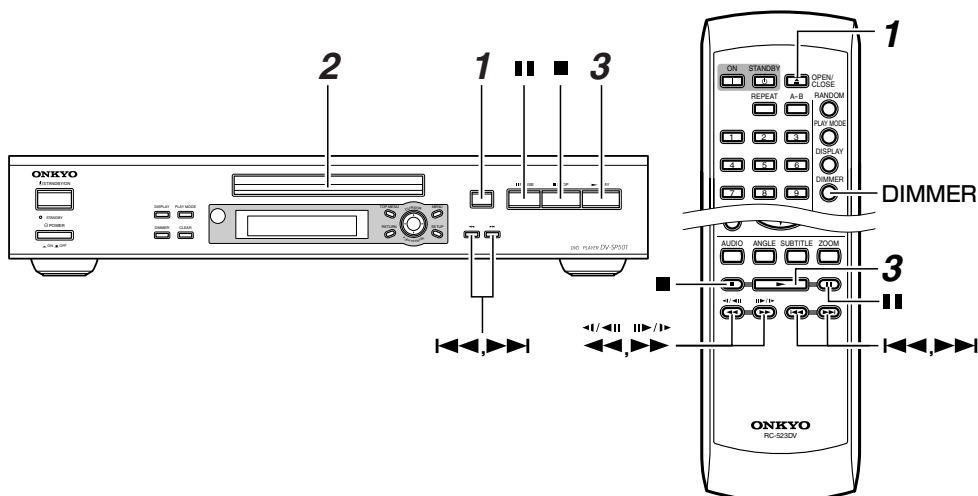
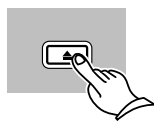
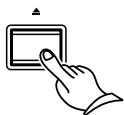
WMA/MP3　WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW

JPEG　JPEGファイルが記録されたCD-R/RW

ご注意

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■（ストップ）ボタンを押してください。
- DVDのなかにはディスクをセットするだけで再生するものもあります。このようなディスクの場合、電源を入れるだけでも再生しますので、本機をスタンバイ状態にする時は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

DVDを再生する（基本の再生）

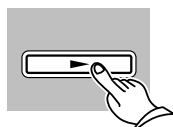
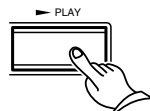
1

リモコン

本体またはリモコンの▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

2

ディスクをトレイに置く

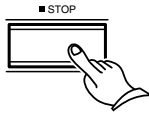
ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

リモコン

本体の► PLAY（プレイ）ボタンまたはリモコンの►（プレイ）ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
ディスクによっては、手順***2***の後で▲（オープンクローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。

再生を停止する

■ STOP

リモコン

本体の■STOP(ストップ)ボタンまたはリモコンの■(ストップ)ボタンを押す

本体の表示部に「RESUME(リジューム)」と表示され、停止した場所を記憶します（リジューム機能）。DVDを取り出すとラストメモリー機能が働きます。

次回、そのDVDを入れて▶(プレイ)ボタンを押すと、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。（ラストメモリー機能）

停止した場所から再生するには

▶ボタンを押してください。

リジューム機能/ラストメモリー機能を解除するには

再生停止後、もう一度■ボタンを押してください。

ご注意

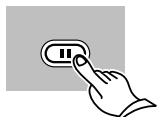
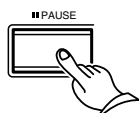
ディスク再生中に■ボタンを押して停止させずに▲(オープン/クローズ)ボタンを押してディスクトレイを開けたときは、リジューム機能、ラストメモリー機能は働きません。

ヒント

- 再生を止めたところから再生が始まるのは、止めた場所が本機のメモリーに記録されているからですが、「視聴制限」の設定を変えたとき（☞88ページ）や、「画面表示言語」を変えたとき（☞87ページ）は、メモリーが初期化されます。
- ラストメモリー機能では、本機はDVD5枚分の停止した場所を記憶できます。5枚を超えると一番古いメモリーから消去されていきます。
- DVD-RW(VR)では、ラストメモリー機能は動作しません。

DVD を再生する（基本の再生）

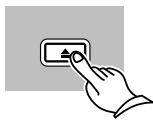
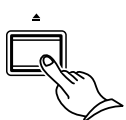
再生を一時停止する

II PAUSE

リモコン

再生中に本体のIIPAUSE（ポーズ）ボタンまたはリモコンのII（ポーズ）ボタンを押す

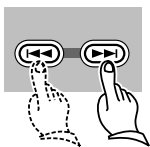
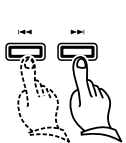
再生を再開するには、再度IIボタン（または▶（プレイ）ボタン）を押してください。

スクリーンセーバー画面があらわれたときは
ディスク再生中、一定時間以上一時停止（ポーズ）状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。II（または▶）ボタンを押すと再生画面が表示され、再度IIボタン（または▶ボタン）を押すと再生が始まります。CDを再生しているときなどでテレビをつけていなくても同様です。

ディスクを取り出す

リモコン

本体またはリモコンの▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開く

トレイが完全に開いたら、デイスクを取り出します。
その後、再度▲ボタンを押してトレイを閉じてください。

見たいチャプターにスキップする

リモコン

チャプターを頭出しします。押した回数だけスキップします。

再生中に見たいチャプターに進むには

本体またはリモコンの▶▶Iボタンを押します。

再生中のチャプターの最初に戻るには

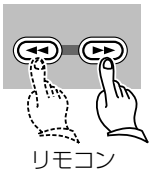
本体またはリモコンのI◀◀ボタンを1回押します。

再生中に見たいチャプターに戻るには

再生中のチャプターの最初でI◀◀ボタンを押します。

ヒント

リジューム機能が働いているときにI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、タイトルの始めに戻って再生を始めます。

早送り、早戻しをする

リモコン

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタン（または本体の▶▶❙ボタン）を押し続けます。
早送り中は画面に「スキャン1▶▶」などと速さが表示されます。

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタン（または本体の❙◀◀ボタン）を押し続けます。
早戻し中は画面に「スキャン1◀◀」などと速さが表示されます。

通常の再生に戻すには

見たい場所まで進めたら、▶（プレイ）ボタンを押します。（本体の❙◀◀/▶▶❙ボタンのときは、見たい場所で指を離します。）

早送りの速さを変えるには

DVDでは3段階（1→2→3）に切り換えることができます。

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す
押すたびに速さが次のように切り換わります。
（遅い）1▶▶→2▶▶→3▶▶（速い）

早戻しの速さを変えるには

DVDでは3段階（1→2→3）に切り換えることができます。

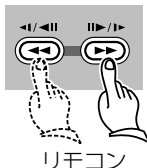
再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す
押すたびに速さが次のように切り換わります。
（遅い）1◀◀→2◀◀→3◀◀（速い）

通常の再生に戻すには

▶（プレイ）ボタンを押します。

ヒント

- 早送り、早戻しの速さはテレビ画面に表示されます。
- 早送り、早戻し中は音は出ません。また、早送り、早戻し中は字幕は表示されません。
- 早送り、早戻しで次のチャプターになると自動的に通常再生に戻るディスクもあります。

画面をコマ送りで見る

リモコン

一時停止中にII►/I► ボタンを押す

押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには

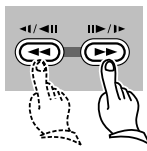
一時停止中に◄I/◄II ボタンを押します。
押すたびに逆方向にコマ送りします。

通常の再生に戻すには

►（プレイ）ボタンを押します。

ヒント

- コマ送り再生は音声が出力されません。
- コマ送り再生できないディスクもあります。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- DVD-RW(VR) では、逆方向にコマ送り再生をすることはできません。

画像をスローで見る

リモコン

一時停止中にII►/I► ボタンを押し続ける

『1/16』と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にII►/I► ボタンを押します。
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
1/16→1/8→1/4→1/2→1/16

逆方向にスロー再生するには

◄I/◄II ボタンを押し続けます。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには

スロー再生中に◄I/◄II ボタンを押します。
押すたびにスロー1とスロー2が切り換わります。

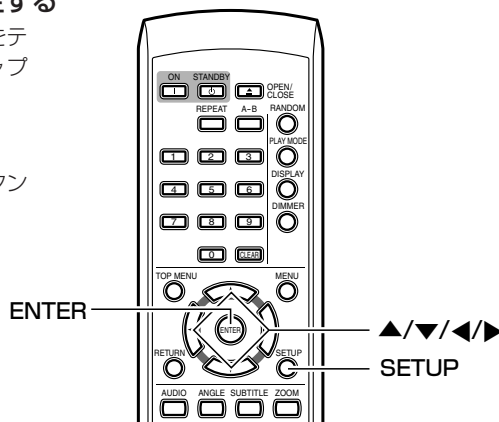
通常の再生に戻すには

►ボタンを押します。

ヒント

- スロー再生中の速さは、テレビ画面に表示されます。
- スロー再生中に次のチャプターになると自動的に通常再生に戻るディスクもあります。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画面が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。
- DVD-RW(VR) では、逆方向にスロー再生することはできません。

■ ディスクナビゲーターを使って再生する

ディスクナビゲーターを使うとディスクの内容をテレビ画面で見ながら、再生するタイトル/チャプターを選ぶことができます。

ヒント

本機のSETUP(セットアップ)ボタン、▲/▼/◀/▶/ENTER(エンター)ボタンでも操作することができます。

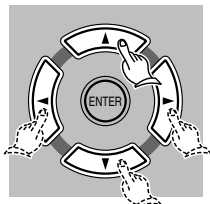
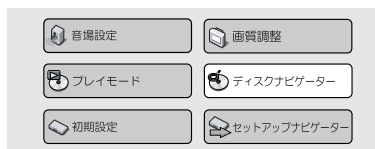
ENTER
▲/▼/◀/▶
SETUP

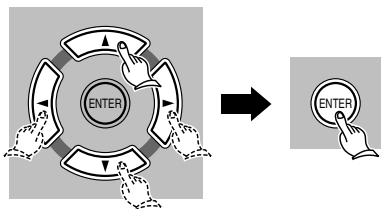
1 ディスクを入れ、停止状態のときにSETUP(セットアップ)ボタンを押し、設定画面を表示する

SETUP

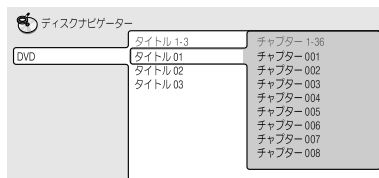
2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「ディスクナビゲーター」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

音場設定	画質調整
プレイモード	ディスクナビゲーター
初期設定	セットアップナビゲーター

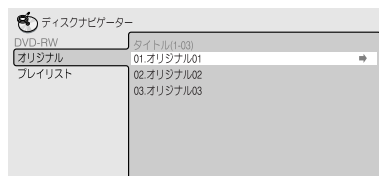
ヒント

DVD-RW(VR) ではMENU(メニュー)ボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。

3

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルをタイトルまたはチャプターに移動し、ENTER（エンター）ボタンを押す

DVDビデオのディスクナビゲーター画面

ディスクナビゲーター
DVD
タイトル 1-3
タイトル 01
タイトル 02
タイトル 03
チャプター 1-36
チャプター 001
チャプター 002
チャプター 003
チャプター 004
チャプター 005
チャプター 006
チャプター 007
チャプター 008

再生したいタイトルまたはタイトルに入っているチャプターを選びます。

DVD-RWのディスクナビゲーター画面

ディスクナビゲーター
DVD-RW
オリジナル
プレイリスト
タイトル(1-03)
01.オリジナル01
02.オリジナル02
03.オリジナル03

現在再生中のエリアの中のトラックを選びます。

● ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）のDVD-RWディスクでは、「プレイリスト」または「オリジナル」を選択して再生することができます。

ヒント

映像を確認してから再生するには（プレビュー）…
停止中に確認したいタイトルを選択してENTERボタンを押します。タイトルの先頭の画像を表示します。

オリジナルとは…
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

プレイリストとは…
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

ご注意

● 再生中に「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。
● プレイリストが作成されていないときは、メニュー画像に「プレイリスト」は表示されません。

4

ENTERボタンを押す

選んだところから再生が始まります。

ご注意 ディスクナビゲーターはディスクがセットされていないと働きません。

ヒント サーチモードを使用して、好みの場面を指定することができます。（☞ 53ページ）

■ ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

ディスクメニュー※について

DVDビデオには、複数の言語や音声方式が含まれている場合があります。多くの場合、このようなDVDビデオは、メニューで言語(ディスクメニュー言語、音声、字幕など)や音声方式を選ぶことができます。ディスクメニューを表示するにはMENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはTOP MENUボタンを押してください。

タイトルメニュー※について

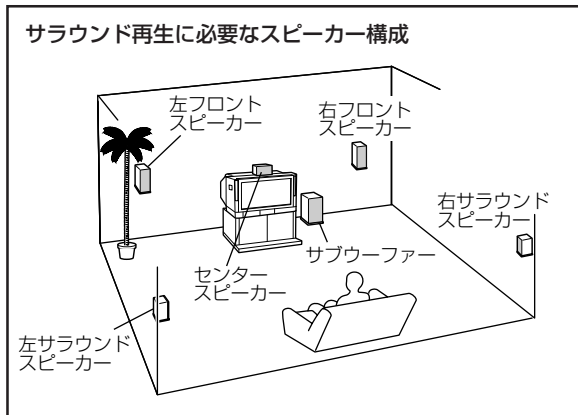
メニューでタイトルやチャプター（☞14ページ「ディスクに関する用語について」）を選べます。タイトルメニューを表示するにはTOP MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはMENUボタンを押してください。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、▲/▼/◀/▶ボタンで項目や設定を選び、ENTERボタンを押して決定してください。

操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。

※ ディスクにより、メニューが含まれていない場合やディスクメニューやタイトルメニューに違う名称がつけられている場合があります。また、メインのメニューにディスクメニューやタイトルメニューが含まれている場合があります。

■ 音声方式と音声効果について

サラウンド再生に必要なスピーカー構成

DTS、ドルビーデジタルの、5.1チャンネルデジタルサラウンド方式は、5つのチャンネルと低音域効果のチャンネルが独立して記録されており、それぞれのチャンネルを独立して再生することができます。これにより、劇場やコンサートホールの臨場感を再現することができます。

ドルビーデジタル

DOLBY DIGITAL マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。

DTS

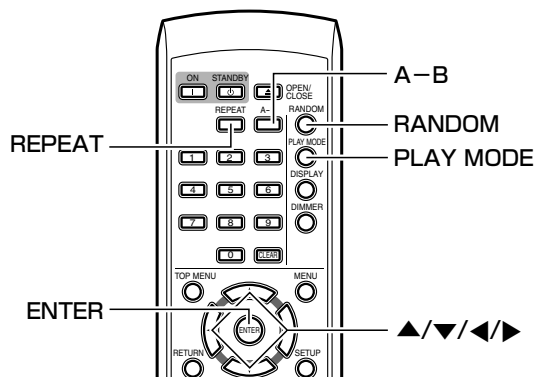
DTS マークのあるDVDビデオや音楽CDがこの方式で記録されています。

ドルビープロロジック

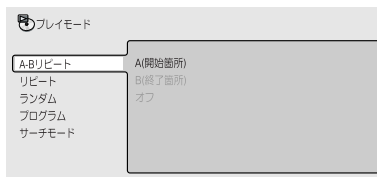
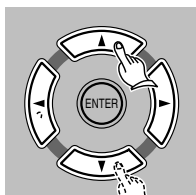
DOLBY SURROUND マークのついたDVDビデオがこの音声方式で記録されています。

DVD を再生する（いろいろな再生）

■ プレイモードを使ったいろいろな再生

A−B
RANDOM
REPEAT
PLAY MODE
ENTER
▲/▼/◀/▶

1 PLAY MODEボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

● ディスクメニューを表示中はプレイモード画面を表示することができません。

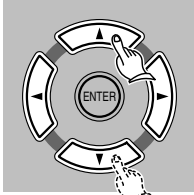
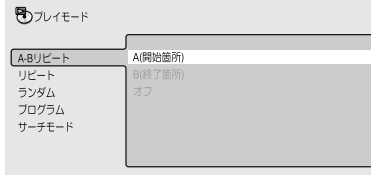
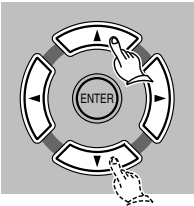
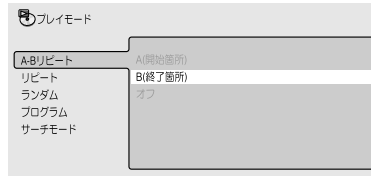
プレイモード
A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード
A(開始箇所)
B(終了箇所)
オフ

2 ▲/▼ボタンで項目を選択し、ENTERボタンを押す

A−Bリピート*：再生中のタイトル内の指定した範囲をくり返し再生します。
リピート*：タイトルやチャプターをくり返し再生します。
ランダム*：タイトルやチャプターを順不同に再生します。
プログラム：タイトルやチャプターの順番を変えて再生します。
サーチモード：タイトル、チャプターまたは時間を指定して再生します。

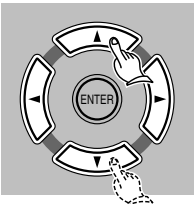
＊印は、リモコンのA−Bボタン、REPEATボタン、RANDOMボタンでも操作できます。

■ A－Bリピート再生（選んだ部分だけをくり返して再生する）

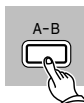
プレイモード画面を表示させ、「A－Bリピート」を選択してください。

1

再生中にくり返したい始めの場所で「A（開始箇所）」を選び、ENTERボタンを押す

2

くり返したい終りの場所で「B（終了箇所）」を選び、ENTERボタンを押す

ENTERボタンを押すと、自動的に「A（開始箇所）」に戻りA－Bリピート再生が始まります。

ご注意

異なるタイトルをまたいでA－Bリピート再生をすることはできません。

通常の再生に戻すには

「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

- CLEARボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

■ A−Bリピート再生をリモコンのA−Bボタンで操作する

1

A−B

再生中にくり返したい始めの場所でA−Bボタンを押す

2

A−B

くり返したい終わりの場所でA−Bボタンを押す

自動的に「A（開始箇所）」に戻り、A−Bリピート再生が始まります。

通常の再生に戻すには

CLEAR

CLEAR（クリア）ボタンを押す

● A−Bボタンを押し、「オフ」を選んで通常再生に戻すこともできます。

■ リピート再生（選んだタイトル、チャプターをくり返し再生する）

プレイモード画面を表示させ、「リピート」を選択してください。

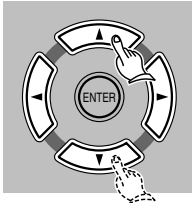
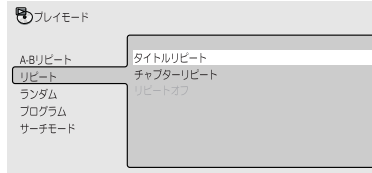
1

再生中にリピート再生の種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

ENTER

ENTER

プレイモード

A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード

タイトルリピート
チャプターリピート
リピートオフ

選んだ種類のリピート再生が始まります。

DVDビデオ、DVD-RW：タイトルリピート、チャプターリピート

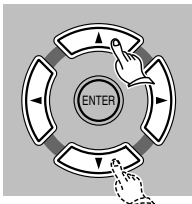
リピート再生をリモコンのREPEAT（リピート）ボタンで操作するには…

REPEAT

再生中にREPEAT（リピート）ボタンを押す

押すごとにリピート再生の種類が切り換わります。

ヒント

- プログラム再生中にリピートモードにすると、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

通常の再生に戻すには

ENTER

ENTER

「リピートオフ」を選び、ENTERボタンを押す

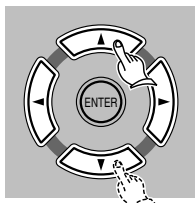
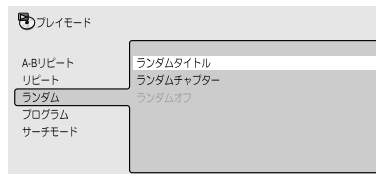
- リモコンのCLEAR（クリア）ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

■ ランダム再生（順不同に再生する）

プレイモード画面を表示させ、「ランダム」を選択してください。

1

ランダム再生の種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード
ランダムタイトル
ランダムチャプター
ランダムオフ

選んだ種類のランダム再生が始まります。

DVDビデオ：ランダムタイトル（タイトルを順不同に再生します。）
ランダムチャプター（チャプターを順不同に再生します。）

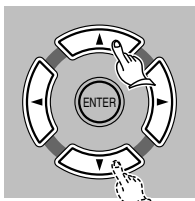
ランダム再生をリモコンのRANDOM（ランダム）ボタンで操作するには…

RANDOM

1. RANDOM（ランダム）ボタンを押す
押すごとにランダム再生の種類が切り換わります。

2. ENTERボタンを押す
選んだ種類のランダム再生が始まります。

ヒント

- DVD-RW(VR) では、ランダム再生はできません。
- ディスクを停止すると、ランダム再生は解除されます。
- ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、順不同に次のチャプターを選んで再生します。また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中のチャプターの始めから再生し直します。現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。
- ランダム再生とリピート再生または、プログラム再生を同時に行うことはできません。

通常の再生に戻すには

「ランダムオフ」を選び、ENTERボタンを押す

- リモコンのCLEAR（クリア）ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

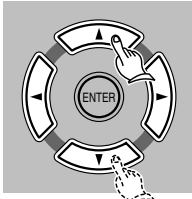
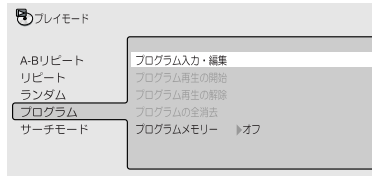
■ プログラム再生（タイトル/チャプターを希望の順に並べ換えて再生する）

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

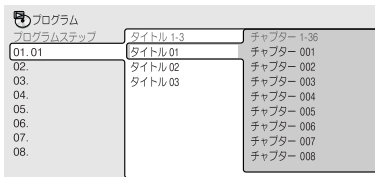
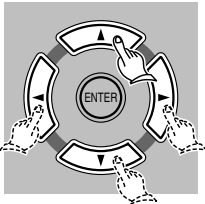
1

「プログラム入力・編集」を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

プレイモード
A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード
プログラム入力・編集
プログラム再生の開始
プログラム再生の解除
プログラムの全消去
プログラムメモリー　オフ

プログラム入力画面が表示されます。
プログラム入力画面はセットしているディスクの種類により異なります。

● DVDビデオの場合

プログラム
プログラムステップ　タイトル 1-3　チャプター 1-36
01. 01　タイトル 01　チャプター 001
02.　タイトル 02　チャプター 002
03.　タイトル 03　チャプター 003
04.　チャプター 004
05.　チャプター 005
06.　チャプター 006
07.　チャプター 007
08.　チャプター 008

2

▲/▼/◀/▶ボタンで希望のタイトルを選び、ENTERボタンを押す

ENTER

タイトルの中に入っているチャプターを選ぶ場合は、▶ボタンでカーソルをチャプターの項に移動し、▲/▼ボタンで希望のチャプターを選び、ENTERボタンを押します。

● 選んだタイトルおよびチャプターがプログラムステップの項に表示されます。

3

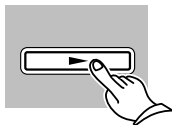
手順*2*をくり返し、希望のタイトルまたはチャプターをプログラムする

最大24ステップまでプログラムすることができます。

4

▶ボタンを押してプログラム再生を始める

プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには、PLAY MODEボタン、SETUPボタンまたはPROGRAMボタンを押します。
（RETURNボタンを押すと、プログラムが消去されますのでご注意ください。）

ヒント

- DVD-RW(VR) ではプログラム再生ができません。
- タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(くり返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します。(☞47ページ)
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。 プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に▶▶❙ボタンを押すと、次のプログラムステップのタイトル/チャプターを再生します。

■ プログラムメニューのその他の機能

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

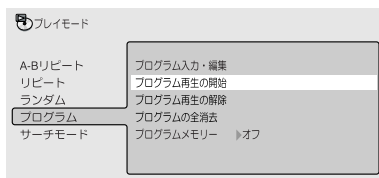
プログラム入力・編集
プログラム再生(☞○○ページ)参照

プログラム再生の開始
プログラム再生を始めます。

プログラム再生の解除
通常の再生に戻ります。
プログラム内容はそのまま残ります。

プログラムの全消去
プログラムされている内容をすべて消去します。

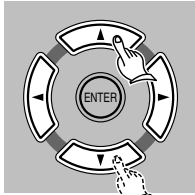
プログラムメモリー（DVDビデオのみ）
「オン」のときはディスクがセットされていれば、プログラム内容を記憶します。解除するときは、「オフ」にします。

ヒント

- ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。
- 最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

■ ステップの間にプログラムを追加するには

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

例：プログラムステップ02の前にタイトル1のチャプター7を追加するには

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTERボタンを押す

すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

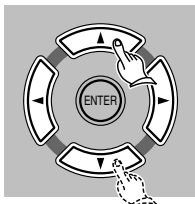
2

▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせる

3

▲/▼ボタンでタイトル1のチャプター7を選び、ENTERボタンを押す

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったプログラムは追加したプログラムの後ろに移動します。

■ プログラムをプログラムステップの最後に追加するには

上記「ステップの間にプログラムを追加するには」の手順*1*を行った後、▲/▼ボタンでカーソルを最後のプログラムの後に移動し、希望のタイトル/チャプターを選び、ENTERボタンを押す

選んだタイトル/チャプターがプログラムの最後に追加されます。

■ プログラムを消去するには

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

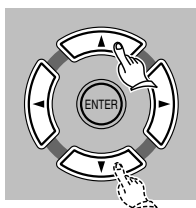
例：プログラムステップ02を消去する

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

プログラム
プログラムステップ
01. 01
02.
03.
04.
05.
06.
07.
08.
タイトル(1-03)
タイトル 01
タイトル 02
タイトル 03
チャプター(1-036)
チャプター 001
チャプター 002
チャプター 003
チャプター 004
チャプター 005
チャプター 006
チャプター 007
チャプター 008

2

▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせる

プログラム
プログラムステップ
01. 01
02.
タイトル(1-03)
タイトル 01
タイトル 02
タイトル 03

3

CLEAR（クリア）ボタンを押す

プログラムステップ02のプログラムが消去され、その後にあったプログラムが1つ前にくり上がります。

ヒント

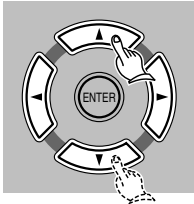
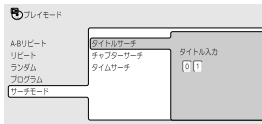
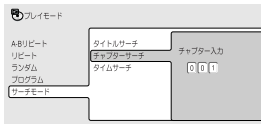
- プログラム画面を表示させないで再生するには、PLAY MODE（プレイ モード）ボタンまたはSETUP（セットアップ）ボタンを押して画面を消してください。
- プログラム中にプログラムを変更したい場合は、RETURN（リターン）ボタンを押します。1つ前のプログラム画面に戻ります。

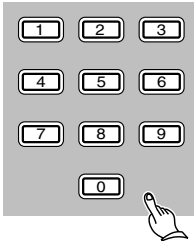
■ サーチモード（見たい場面などを探して再生する）

プレイモード画面を表示させ、「サーチモード」を選択してください。

1 ▲/▼ボタンでサーチモードの種類を選ぶ

使用しているディスクによりサーチできる種類が異なります。

タイトルサーチ　：タイトルを指定して再生します。
チャプターサーチ：チャプターを指定して再生します。
タイムサーチ　　：時間を指定して再生します。

タイトルサーチを選択したとき　**チャプターサーチを選択したとき**　**タイムサーチを選択したとき**

2 数字ボタンで再生したいタイトル、チャプターまたは時間を入力する

例： 3を選ぶには「3」を押します。
10を選ぶには「1」と「0」を押します。
37を選ぶには「3」と「7」を押します。
21分43秒を選ぶには「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
1時間14分(74分00秒)を選ぶには「7」、「4」、「0」、「0」と押します。

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

指定したタイトル、チャプターまたは時間から再生が始まります。

ご注意

- 再生中のみタイムサーチ機能を使うことができます。
- ディスクメニューから見たい場面を探すことができるディスクもあります。（☞43ページ）

■ 字幕言語を切り換える

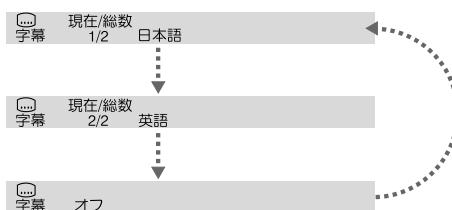
複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

SUBTITLE

再生中にSUBTITLE（サブタイトル）ボタンをくり返し押して、希望の字幕言語を選ぶ

字幕 現在/総数 1/2 日本語

字幕 現在/総数 2/2 英語

字幕 オフ

- DVDビデオの中にはディスクメニューからサブタイトルを選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP MENU（トップ メニュー）ボタンを押してください。
- 字幕言語については初期設定「字幕言語を設定する」（☞83ページ）をご覧ください。

■ 音声を切り換える

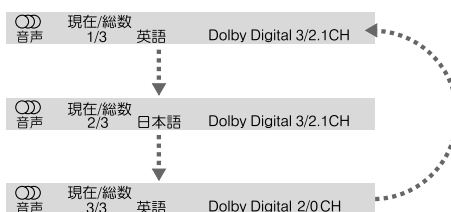
複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を切り換えることができます。

AUDIO

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンをくり返し押して、希望の音声言語を選ぶ

音声 現在/総数 1/3 英語 Dolby Digital 3/2.1CH

音声 現在/総数 2/3 日本語 Dolby Digital 3/2.1CH

音声 現在/総数 3/3 英語 Dolby Digital 2/0CH

- DVDビデオの中にはディスクメニューから音声言語を選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP MENU（トップ メニュー）ボタンを押してください。
- 音声言語については「音声言語を設定する」（☞83ページ）をご覧ください。

■ DVD-RWの音声チャンネルを切り換える

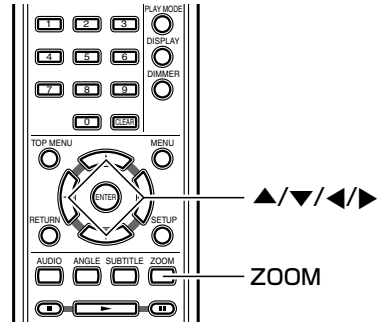
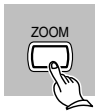
モノラル音声がL/Rに記録されているDVD-RWでは、L(左)、R(右)、L+R（左+右）に音声チャンネルを切り換えることができます。

AUDIO

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンをくり返し押して、L(左)、R(右)、L+R（左+右）を選ぶ

■ 画面をズーム（拡大）するには

再生中、一時停止中に好みの部分をズーム（拡大）することができます。

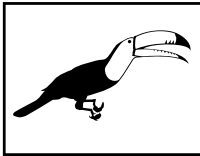
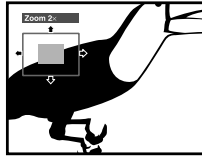
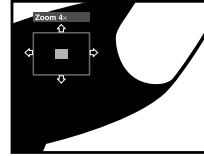
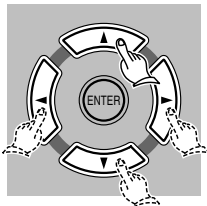
▲/▼/◀/▶
ZOOM

1 再生中、一時停止中にZOOM(ズーム)ボタンを押して、画面をズーム（拡大）する

ZOOM

ズームエリア（拡大する場所）が左上に表示されます。
ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

→ 2×（2倍）→ 4×（4倍）→ 標準 →

標準　2×（2倍）　4×（4倍）

Zoom 2×　Zoom 4×

2 ▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの場所に移動する

ENTER

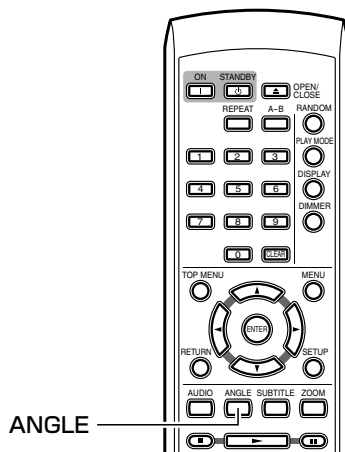
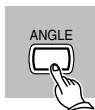
ご注意

- 約5秒間ボタン操作がないと、ズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度ZOOMボタンを押してズームエリアを表示してください。
- ズーム中は字幕が表示されません。
- DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

通常再生に戻すには

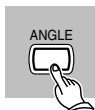
▶(プレイ)ボタンを押します。

■ カメラアングルを切り換えるには

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには🎥マークが付いています。

ANGLE

1 🎥マークが表示されたら、ANGLE（アングル）ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークがテレビ画面に表示されます。

🎥 アングル	現在/総数 2/4

2 さらにANGLEボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

テレビ画面上の🎥マークを消すには

🎥マークを表示させたくないときは、初期設定画面の「アングルマーク表示」を「オフ」にします（☞87ページ）。

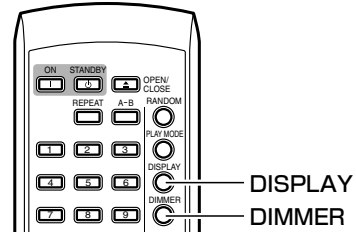
ヒント

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

■ ディスクの情報を見る

DISPLAY
DIMMER

DISPLAY

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに以下のようなディスク情報が表示されます。

1回押すと･･･

例）DVDビデオ DVD-RW(VR) のタイトル情報画面

再生	►	DVD		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕	2. 日本語	アングル 1

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

2回押すと･･･

例）DVDビデオ のチャプター情報画面

再生	►	DVD		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート：	■■■■■■■■■■■■■■■■			8.1Mbps

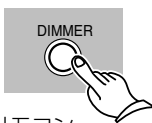
例）DVD-RW(VR) のチャプター情報画面

再生	►	DVD		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート：	■■■■■■■■■■■■■■■■			8.1Mbps

現在再生中のチャプターの情報と転送レート*が表示されます。

3回押すと･･･
表示が消えます。

* 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが画質が良いとはかぎりません。

■ 表示部の明るさを変える

DIMMER

リモコン

DIMMER（ディマー）ボタンを押す

DIMMERボタンを押すたびに、本機の表示部の明るさが3段階に切り換わります。

→ ふつう → やや暗い → 暗い →

ビデオCD、CD、MP3/WMAディスクを再生する(基本の再生)

再生する：[►] ボタンを押す

- ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については68ページをご覧ください。
- WMA/MP3 では、ディスク情報の読み込み中に、画面に「読込中」と表示されます。表示が消えてから再生してください。

再生を停止する：(■) ボタンを押す

- CD(R/RW) WMA/MP3 では、リジューム機能は働きません。WMA/MP3 では、次回は停止した箇所のあるフォルダーの一曲目から再生を開始します。
- ビデオCDでは、本体の表示部に「RESUME(リジューム)」と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。リジューム機能を解除するには、■(ストップ)ボタンをもう一度押します。また、ディスクを取り出したり、本機の電源をオフにするとリジューム機能は解除されます。

再生を一時停止する：(II) ボタンを押す

通常の再生に戻すには、一時停止中にII(ポーズ)ボタン、または►(プレイ)ボタンを押します。

見たい/聞きたいトラックにスキップする：(I◄◄)(►►I) ボタンを押す

I◄◄ボタンまたは►►Iボタンを押した回数だけトラックをスキップします。

早送りをする：(►►) ボタンを押す

- 早送り中は画面に「スキャン 1►►」などと速さが表示されます。
- ビデオCD CD(R/RW) は、早送りの速さを2段階切り換えることができます。
- ビデオCD WMA/MP3 は、再生中のトラックのみを早送りします。次のトラックまで早送りすると通常の再生に戻ります。
- 早送り中に通常の再生に戻すには、►ボタンを押します。

早戻しをする：(◄◄) ボタンを押す

- 早戻し中は画面に「スキャン1◄◄」などと速さが表示されます。
- ビデオCD CD(R/RW) は、早戻しの速さを2段階切り換えることができます。
- ビデオCD WMA/MP3 は、再生中のトラックのみを早戻しします。再生中のトラックの先頭まで早戻しすると通常の再生に戻ります。
- 早戻し中に通常の再生に戻すには、►ボタンを押します。

見たい/聞きたいトラックを指定して再生する：[1][2][3][4][5][6][7][8][9][0] (ENTER) ボタンを押す

- 見たい/聞きたいトラックの番号を数字ボタンで選択して、ENTER(エンター)ボタンを押してください。(トラック番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)

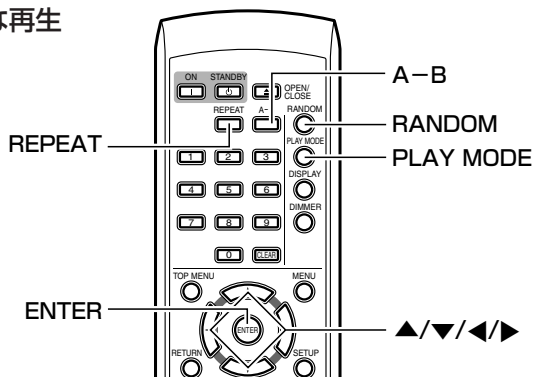
例）トラック12を再生するには、1、2を押してENTERボタンを押します。

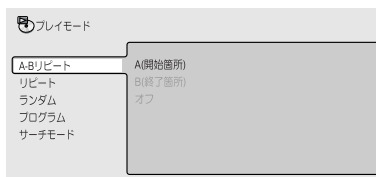
- WMA/MP3 では、再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。

■ プレイモードを使ったいろいろな再生

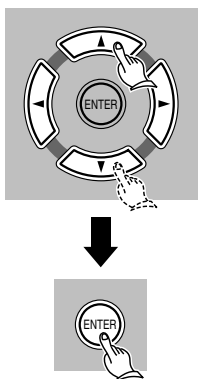
REPEAT
ENTER
A－B
RANDOM
PLAY MODE
▲/▼/◀/▶

1

PLAY MODE（プレイ モード）ボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

PLAY MODE

プレイモード
A-Bリピート　A(開始箇所)
リピート　B(終了箇所)
ランダム　オフ
プログラム
サーチモード

ご注意
- ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してください。(☞68ページ)
- ファイナライズされていないCD(R/RW)では表示することができません。

2

▲/▼ボタンで項目を選択し、ENTER（エンター）ボタンを押す

ENTER

A-Bリピート（☞60ページ）
再生中のトラック内の指定した範囲をくり返し再生します(WMA/MP3ではA-Bリピート再生を選択することはできません)。

リピート（☞62ページ）
ディスク、フォルダーまたはトラックをくり返し再生します。

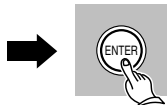
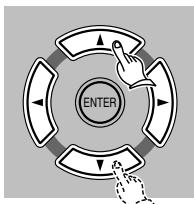
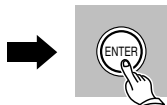
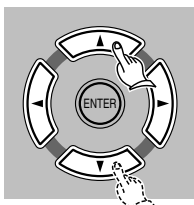
ランダム（☞63ページ）
トラックを順不同に再生します。

プログラム（☞64ページ）
フォルダーやトラックの順番を変えて再生する。

サーチモード（☞65ページ）
フォルダーまたはトラックを指定して再生する。

■ A－Bリピート再生（選んだ部分だけをくり返して再生する）

プレイモード画面を表示させ、「A－Bリピート」を選択してください。

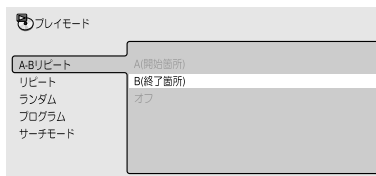
1

再生中にくり返したい始めの場所で「A（開始箇所）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート / A(開始箇所) / B(終了箇所) / オフ
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード

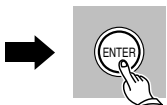
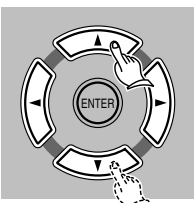
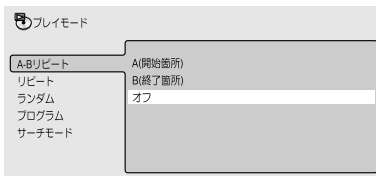
2

くり返したい終りの場所で「B（終了箇所）」を選び、ENTERボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート / A(開始箇所) / B(終了箇所) / オフ
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード

ENTERボタンを押すと、自動的に「A（開始箇所）」に戻りA－Bリピート再生が始まります。

ご注意

- 異なるタイトルをまたいでA－Bリピート再生をすることはできません。
- WMA/MP3 はA－Bリピート再生ができません。

通常の再生に戻すには

「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート / A(開始箇所) / B(終了箇所) / オフ
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード

- リモコンのCLEAR（クリア）ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

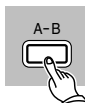
■ A−Bリピート再生をリモコンのA−Bボタンで操作する

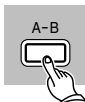
1

A-B

再生中にくり返したい始めの場所でA−Bボタンを押す

2

A-B

くり返したい終りの場所でA−Bボタンを押す

自動的に「A（開始箇所）」に戻り、A−Bリピート再生が始まります。

通常の再生に戻すには

CLEAR

CLEAR(クリア)ボタンを押す

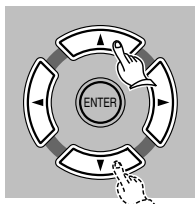
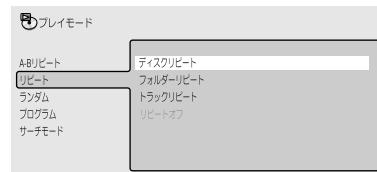
- A−Bボタンを押し、「オフ」を選んで通常再生に戻すこともできます。

■ リピート再生(選んだタイトル、チャプターをくり返し再生する)

プレイモード画面を表示させ、「リピート」を選択してください。

1

再生中にリピート再生の種類を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード
ディスクリピート
フォルダーリピート
トラックリピート
リピートオフ

選んだ種類のリピート再生が始まります。

ディスクリピート　：現在再生中のディスクをくり返し再生します。
フォルダーリピート　：現在再生中のフォルダーをくり返し再生します。
WMA/MP3 のみ
トラックリピート　：現在再生中のトラックをくり返し再生します。
リピートオフ　：通常の再生に戻ります。

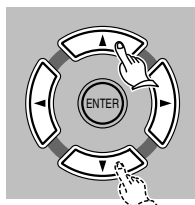
リピート再生をリモコンのREPEAT(リピート)ボタンで操作するには…

REPEAT

再生中にREPEAT(リピート)ボタンを押す

押すごとにリピート再生の種類が切り換わります。

ヒント

- ディスクの再生を停止するとリピート再生は解除されます。
- リピート再生することができないディスクもあります。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

通常の再生に戻すには

「リピートオフ」を選び、ENTERボタンを押す

- リモコンのCLEAR(クリア)ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

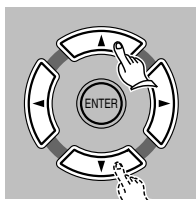
■ ランダム再生（順不同に再生する）

プレイモード画面を表示させ、「ランダム」を選択してください。

1

ENTER / ENTER

ランダム再生の種類を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

プレイモード
A-Bリピート
リピート
ランダム
プログラム
サーチモード
ランダムタイトル
ランダムチャプター
ランダムオフ

選んだ種類のランダム再生が始まります。

ディスクにより選択できるランダム再生の種類が異なります。下記を参考にランダム再生の種類を選択してください。

WMA/MP3 の場合

ランダムオール　：現在再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。
ランダムトラック：現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
ランダムオフ　　：通常の再生に戻ります。（ランダム再生中にCLEAR(クリア)ボタンを押して通常の再生に戻すこともできます。）

ビデオCD CD(R/RW) **の場合**

オン：トラックを順不同に再生します。
オフ：通常の再生に戻ります。（ランダム再生中にCLEARボタンを押して通常の再生に戻すこともできます。）

ランダム再生をリモコンのRANDOM(ランダム)ボタンで操作するには…

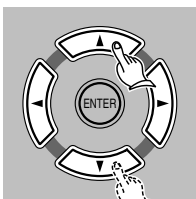
RANDOM

1. RANDOM(ランダム)ボタンを押す
押すごとにランダム再生の種類が切り換わります。

2. ENTERボタンを押す
選んだ種類のランダム再生が始まります。

ヒント

- ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、順不同に次のトラックを選んで再生します。
  また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中のトラックの始めから再生し直します。現在再生中のトラックより前のトラックに戻ることはできません。
- ランダム再生とリピート再生または、プログラム再生を同時に行うことはできません。
- ディスクを停止するとランダム再生が解除されます。
- ランダム再生ができないディスクがあります。

通常の再生に戻すには

ENTER / ENTER

「ランダムオフ」を選び、ENTERボタンを押す

- リモコンのCLEAR(クリア)ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

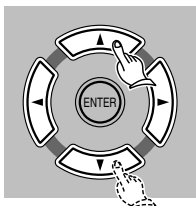
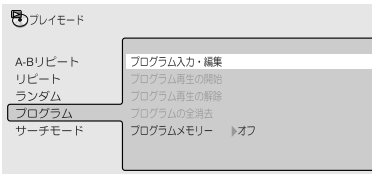
■ プログラム再生（フォルダー、トラックなどを希望の順に並べ換えて再生する）

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

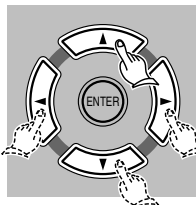
1

「プログラム入力・編集」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

プレイモード

A-Bリピート	プログラム入力・編集
リピート	プログラム再生の開始
ランダム	プログラム再生の解除
プログラム	プログラムの全消去
サーチモード	プログラムメモリー ▶オフ

プログラム入力画面が表示されます。
プログラム入力画面はセットしているディスクの種類により異なります。

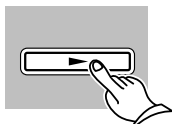
- WMA/MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(R/RW) では、トラックのみを選択します。
- プログラム入力中にRETURN（リターン）ボタンを押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

2

▲/▼/◀/▶ボタンで希望のフォルダー/トラックを選び、ENTERボタンを押す

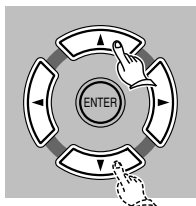
3

手順*2* をくり返し、希望のフォルダーまたはトラックをプログラムする

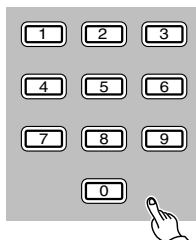
最大24ステップまでプログラムすることができます。

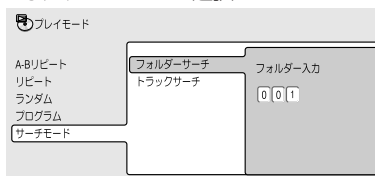
4

▶（プレイ）ボタンを押してプログラム再生を始める

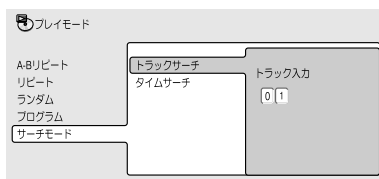
■ サーチモード（聞きたい曲を探して再生する）

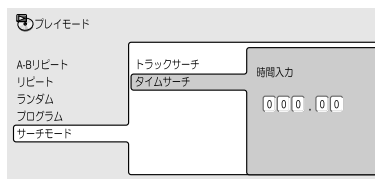
プレイモード画面を表示させ、「サーチモード」を選択してください。

1 ▲/▼ボタンでサーチモードの種類を選ぶ

使用しているディスクによりサーチできる種類が異なります。

フォルダーサーチ：フォルダーを指定して再生します。（WMA/MP3 のみ）
トラックサーチ：トラックを指定して再生します。
タイムサーチ：時間を指定して再生します。

2 数字ボタンで再生したいフォルダー、トラックまたは時間を入力する

● **フォルダーサーチを選択したとき**

フォルダー3を再生するには、数字ボタンの3を押します。

● **トラックサーチを選択したとき**

トラック12を再生するには、数字ボタンの1、2を押します。

● **タイムサーチを選択したとき**

21分43秒を再生するには、数字ボタンの2、1、4、3を押します。

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

指定したフォルダー、トラックまたは時間から再生が始まります。

■ ディスクナビゲーターを使って再生する

1

41ページの「ディスクナビゲーターを使って再生する」の手順*1*、*2*を行い、「ディスクナビゲーター」を選ぶ

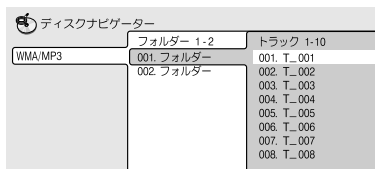
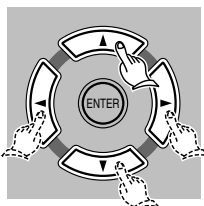
音場設定
画質調整
プレイモード
ディスクナビゲーター
初期設定
セットアップナビゲーター

2

▲/▼/◀/▶ボタンでフォルダーまたはトラックを選ぶ

ENTER

例）WMA/MP3 のディスクナビゲーター画面

ディスクナビゲーター
WMA/MP3
フォルダー 1-2
001. フォルダー
002. フォルダー
トラック 1-10
001. T_001
002. T_002
003. T_003
004. T_004
005. T_005
006. T_006
007. T_007
008. T_008

ご注意

半角英数字以外の名前のフォルダー、トラックでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名が「T_035」のように表示されることがあります。（ WMA/MP3 のみ）

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

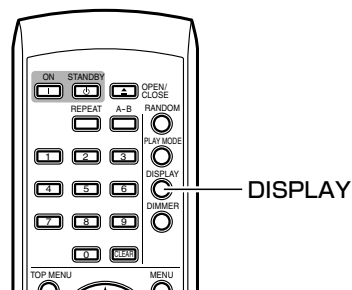
ENTER

選んだところから再生が始まります。

ご注意

ディスクナビゲーターはディスクがセットされていないと働きません。

■ 再生中にディスクの情報を見る

ON STANDBY OPEN/CLOSE REPEAT A-B RANDOM PLAY MODE DISPLAY DIMMER CLEAR TOP MENU MENU

DISPLAY

DISPLAY

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに以下のようなディスク情報が表示されます。

1回押すと・・・

- ビデオCD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
- DVD-RW(VR) WMA/MP3 では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。

例）WMA/MP3 のトラックの情報画面

再 生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

2回押すと・・・

- ビデオCD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- DVD-RW(VR) では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
- WMA/MP3 では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

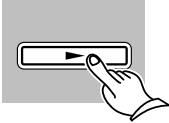
例）MP3のフォルダーの情報画面

再 生 ►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	Folder1	

3回押すと・・・

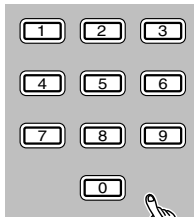
表示が消えます。

■ メニュー画面から再生する（PBC再生）…ビデオCDのみ

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1 PBC再生対応ディスクを入れ、►(プレイ)ボタンを押す

ビデオCDカラオケ

1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

メニュー画面が表示され、PBC再生を開始します。

2 数字ボタンで再生したいトラックを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

再生を始めます。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に|◀◀ボタン、または▶▶|ボタンを押します。

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生を解除して再生する）

以下のいずれかの操作で再生するトラックを選びます。

- 停止中に|◀◀ボタン、または▶▶|ボタンで選ぶ
- 停止中に数字ボタンで選び、ENTERボタンを押す

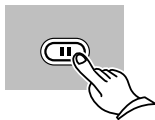
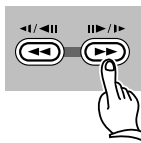
トラックを選んでから2秒以上経過すると、自動的に再生を始めます。

■ スロー再生をする(ビデオCDのみ)

1

再生中にII(ポーズ)ボタンを押す

一時停止状態になります。

2

II▶/I▶ボタンを押し続ける

「スロー1/16I▶」と表示されます。
指を離してもスロー再生を続けます。

通常の再生に戻すには

▶(プレイ)ボタンを押します。

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にII▶/I▶ボタンを押します。押すたびに下記のように速さが変わります。

→1/16 →1/8 → 1/4→ 1/2

ご注意

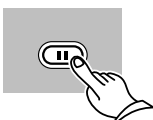
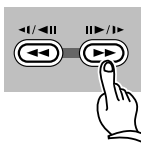
- コマ送り、スロー再生中は音声は出力されません。
- ビデオCD では、逆方向のコマ送り、スロー再生はできません。

■ コマ送りをする(ビデオCDのみ)

1

再生中にII(ポーズ)ボタンを押す

一時停止状態になります。

2

II▶/I▶ボタンを押す

ボタンを押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押します。

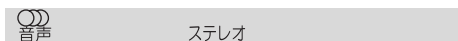
■ 音声を切り替える(ビデオCDのみ)

AUDIO

AUDIO(オーディオ)ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ステレオ→1/L(左)→2R/(右)が切り換わります。

音声　ステレオ

ヒント

カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

■ 映像をズーム(拡大)する(ビデオCDのみ)

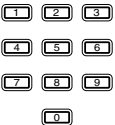
画面の一部を拡大して見ることができます

詳しくは55ページをご覧ください。

JPEG（ジェイペグ）ファイルを再生する（基本の再生）

再生する：［►］ボタンを押す

- ディスク情報を読み込み中に►（プレイ）ボタンを押すと、画面に「読込中」と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- JPEG 画像が次々と表示されます。(スライドショー)

再生を停止する：［■］ボタンを押す

■（ストップ）ボタンを押します。次回は停止した箇所のあるフォルダーの1番目の画像から再生を開始します。

再生を一時停止する：［II］ボタンを押す

II（ポーズ）ボタンを押します。通常の再生に戻すには、一時停止中にIIボタン、または►ボタンを押します。ファイル読込中は操作できません。

画像を切り換える：［|◄◄］［►►|］ボタンを押す

- スライドショー表示中は、|◄◄ボタンまたは►►|ボタンを押すと、前/次の画像に切り換わります。
- 一覧（フォトブラウザー）表示中は、|◄◄ボタンまたは►►|ボタンを押すと、画像が9枚ずつ切り換わります。

画像を指定して再生する：［1］［2］［3］［4］［5］［6］［7］［8］［9］［0］［ENTER］ボタンを押す

- 見たい/聞きたいトラックの番号を数字ボタンで選択して、ENTER（エンター）ボタンを押してください。(番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)

例) 12番目の画像を再生するには数字ボタンの1、2を押して、ENTERボタンを押します。

JPEG(ジェイペグ)ファイルを再生する(いろいろな再生)

■ ディスクナビゲーターを使ってJPEGファイルを再生する

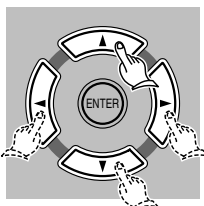
見たいフォルダーやファイルをテレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

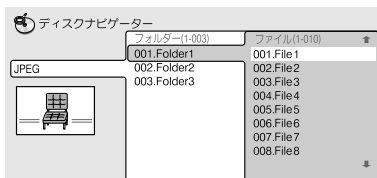
1

41ページの「ディスクナビゲーターを使って再生する」の手順*1*、*2* を行い、「ディスクナビゲーター」を選ぶ

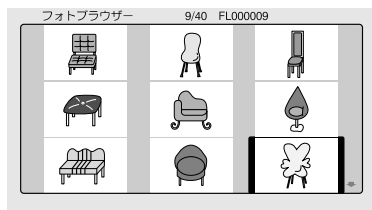
2

▲/▼/◀/▶ボタンで再生したいフォルダーを選ぶ

ヒント

ファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。一覧(フォトブラウザー)画面を見ない場合は、手順*4* に進んでください。

ご注意

半角英数字以外で入力されているフォルダーまたはファイルの名前は、「F_033」、「FL_035」のように表示されることがあります。

3

ENTER(エンター)ボタンを押して、一覧(フォトブラウザー)画面を表示する

テレビ画面に9枚の画像が表示されます。

ヒント

- 一番下の行で▼ボタンを押すと、9枚目以降の画像が表示されます。
- ◀または▶ボタンを押すと、画像が9枚ずつ切り換わります。
- ディスクナビゲーター画面に戻るには、RETURN(リターン)ボタンを押してください。

4

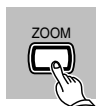
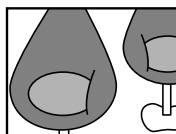
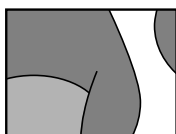
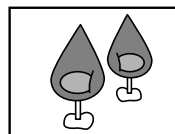
画像を選択して、ENTERボタンを押す

画像の再生(スライドショー)が始まります。

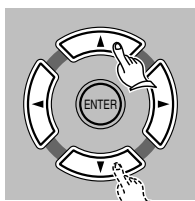
■ JPEG画像をズーム（拡大）する

1

ZOOM(ズーム)ボタンを押す

ZOOM

1回押すと…2倍に拡大　2回押すと…4倍に拡大　3回押すと…通常の映像に戻る

2

▲/▼/◀/▶ボタンで拡大する場所を移動する

ヒント

- JPEG 画像のズーム中はズームエリアが表示されません。
- 画像を拡大しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには▶(プレイ)ボタンを押します。
- 次の画像（ファイル）の読み込み中は、本体表示部に「LOAD(ロード)」と表示されます。読み込み中に画像を拡大することはできません。

ENTER

■ JPEG画像を回転させる

1

ANGLE(アングル)ボタンを押す

ボタンを押すたびに時計回りに90゜画像が回転します。

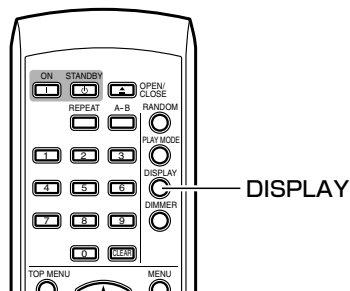
ENTER

ヒント

- 画像を回転しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには▶ボタンを押します。
- 次の画像（ファイル）の読み込み中は、本体表示部に「LOAD」と表示されます。読み込み中に画像を拡大することはできません。

JPEG ファイルを再生する（いろいろな再生）

■ ディスクの情報を見る

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに以下のようなディスク情報が表示されます。

1回押すと･･･

現在再生中のファイルの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
	現在/総数
ファイル	1/40
ファイル名	File1

2回押すと･･･

現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
	現在/総数
フォルダー	1/18
フォルダー名	Folder1

3回押すと･･･

表示が消えます。

ヒント

- 本機では、CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されている JPEG を再生することができます。（記録方法などによって再生できないこともあります。）
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- ファイルサイズが大きいときは、画像の表示に時間がかかることがあります。
- JPEG と WMA/MP3 が混在しているディスクでは、両方のファイルを同時に再生することはできません。再生するファイルを変更するときは、「フォトビューワー」の設定を変更してください。(☞92ページ)
- JPEG 再生時は、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生はできません。

音声の設定

■ ダイナミックレンジを調整する（オーディオDRC）

オーディオDRC（ダイナミックレンジコントロール）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生することができます。例えば、映画のセリフなどが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。

1

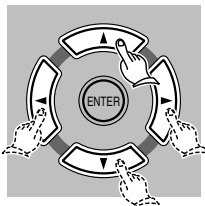
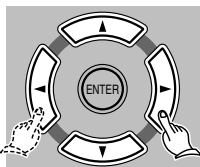
SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

SETUP

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「音場設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

ENTER

音場設定　画質調整
プレイモード　ディスクナビゲーター
初期設定　セットアップナビゲーター

3

◀/▶ボタンで「オン」または「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

音場設定
オーディオDRC　オフ

オン　：爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。
オフ　：オーディオDRCを解除します。

ヒント

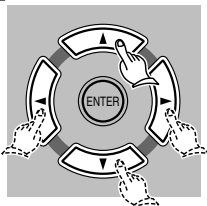
- オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも効果があります。ただし、デジタル音声出力の「デジタル出力」を「オン」に設定して、さらに「ドルビーデジタル出力」「DDDigital＞PCM」に設定してください。（☞79ページ）
- オーディオDRCの効果はご使用になっているスピーカーやAVアンプなどの設定によって変わります。

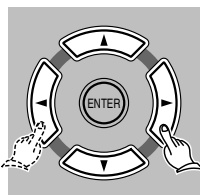
画質調整

■ 画質を調整する

1

SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「画質調整」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3

◀/▶ボタンで「標準」、「メモリー１」または「メモリー2」を選び、ENTERボタンを押す

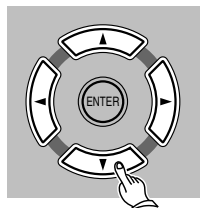
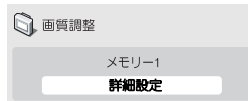
画質調整画面が消えます。

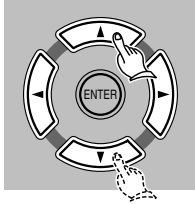
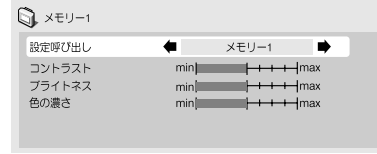
標準　：ディスクに記録されているそのままの画質です。（お買い上げ時の設定）

メモリー1/2　：お好みで調整した画質設定を記憶させることができます。

ご注意　自動的に画質調整画面が消えたときは、設定が無効になります。

「メモリー１」または「メモリー2」の内容を変更したいときは、手順*4* に進みます。

4

メモリーの内容を変更したいときは、手順*3* で「メモリー1」または「メモリー2」を選び、▼ボタンで「詳細設定」を選び、ENTERボタンを押す

- 前の設定のまま使用するときは、「メモリー1」または「メモリー2」を選びENTERボタンを押します。

5

▲/▼ボタンで項目を選ぶ

設定呼び出し：
「メモリー１」、「メモリー2」または「標準」の画質設定内容を呼び出します。設定内容を確認するときや、呼び出した内容をもとにして設定するときに使います。

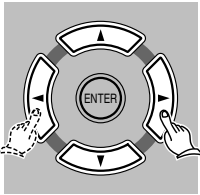
コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

ブライトネス：
画面の明るさを調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

ヒント

DISPLAYボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と1行表示が切り換わります。

6

◀/▶ボタンで各項目のレベルを調整する

7

手順*5*、*6* をくり返してすべての項目を調整し、ENTERボタンを押す

ご注意

- すでに画質設定が記憶されているときは、新しく設定した内容に上書きされます。
- 設定終了後は、必ずENTERボタンを押してください。設定した内容が記憶されません。
- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

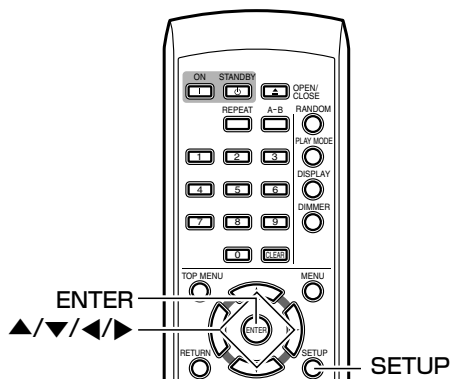
初期設定

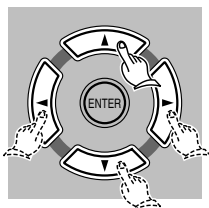
■ 初期設定画面の操作のしかた

初期設定画面では、言語、音声出力などをお好みの設定にすることができます。

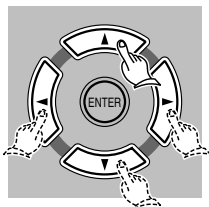
- 設定画面で変更できない項目は灰色で表示されます。
- 停止状態で操作してください。

ENTER
▲/▼/◀/▶
SETUP

1

SETUPボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンを押す

音場設定	画質調整
プレイモード	ディスクナビゲーター
初期設定	セットアップナビゲーター

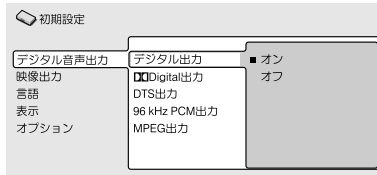
3

▲/▼/◀/▶ボタンで左側の設定項目を選び、右側の項目で設定し、ENTERボタンを押す

■ デジタル音声出力の設定をする

本機に接続したAVアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。お手持ちのAVアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

デジタル音声出力

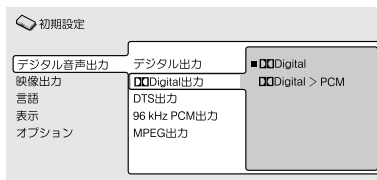
接続したAVアンプがデジタル出力に対応しているときは、設定を「オン」にします。

初期設定
デジタル音声出力 | デジタル出力 | ■ オン
映像出力 | Digital出力 | オフ
言語 | DTS出力
表示 | 96 kHz PCM出力
オプション | MPEG出力

オン：
本機後面のデジタル出力端子から音声を出力します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
本機後面のデジタル出力端子からは音声は出力されません。

ドルビーデジタル出力

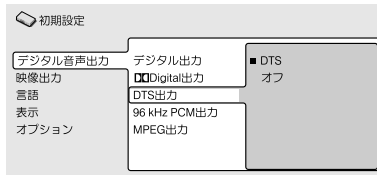
接続したAVアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を「Dolby Digital>PCM」にします。

初期設定
デジタル音声出力 | デジタル出力 | ■ Digital
映像出力 | Digital出力 | Digital > PCM
言語 | DTS出力
表示 | 96 kHz PCM出力
オプション | MPEG出力

Digital（ドルビーデジタル）：
ドルビーデジタルに対応しているAVアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

Digital>PCM（ドルビー）：
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。

DTS出力

接続したAVアンプがDTS対応のときは、設定を「DTS」にします。

初期設定
デジタル音声出力 | デジタル出力 | ■ DTS
映像出力 | Digital出力 | オフ
言語 | DTS出力
表示 | 96 kHz PCM出力
オプション | MPEG出力

DTS：
DTS対応AVアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

オフ：
DTSに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。

ご注意

- DTSに対応していないAVアンプに接続しているときに「DTS」を選ぶとノイズが発生することがあります。
- DTS CDでは、設定に関わらず常にDTS信号が出力されます。

96kHzPCM出力

接続したAVアンプが96kHzPCMに対応しているときは、設定を「96kHz」にします。

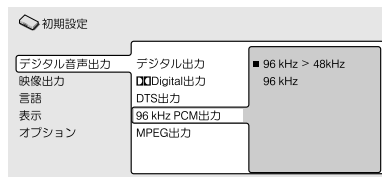
初期設定

デジタル音声出力 / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション

デジタル出力 / DDDigital出力 / DTS出力 / 96 kHz PCM出力 / MPEG出力

■ 96 kHz > 48kHz
96 kHz

96kHz＞48kHz：
各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

96kHz：
96kHz対応AVアンプと接続したときに選びます。

ご注意

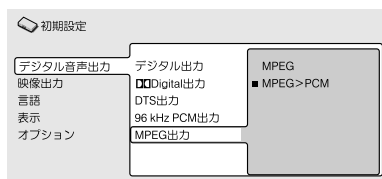
ディスクによっては、「96kHz」を選択していても48/44.1kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。

MPEG（エムペグ）出力

接続したAVアンプがMPEGマルチチャンネル対応のときは、設定を「MPEG」にします。

初期設定

デジタル音声出力 / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション

デジタル出力 / DDDigital出力 / DTS出力 / 96 kHz PCM出力 / MPEG出力

MPEG
■ MPEG>PCM

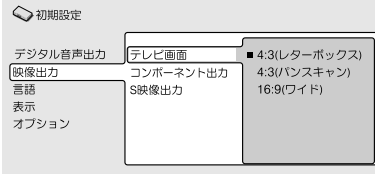
MPEG：
MPEGマルチチャンネルに対応しているAVアンプと接続したときに選びます。

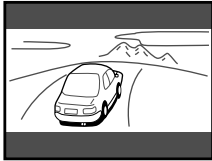
MPEG＞PCM：
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

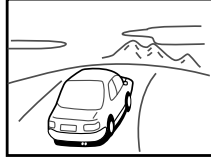
■ 映像出力の設定をする

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

初期設定

デジタル音声出力	テレビ画面	■ 4:3(レターボックス)
映像出力	コンポーネント出力	4:3(パンスキャン)
言語	S映像出力	16:9(ワイド)
表示		
オプション		

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビの場合は「16:9（ワイド）」に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16:縦9で記録されていますので、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4:縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、「4:3（レターボックス）」、または「4:3（パンスキャン）」に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。

4:3（レターボックス）:

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。（お買い上げ時の設定）

4:3（パンスキャン）:

従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。パンスキャンに対応しているディスクのみ効果があります。

16:9（ワイド）:

ワイドテレビと接続したとき選択します。

ヒント　アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

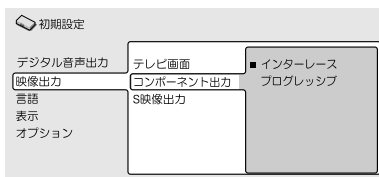
お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

■ インターレース/プログレッシブを切り換える

映像出力方式を「インターレース」にするか「プログレッシブ」にするかを切り換えることができます。

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション

テレビ画面
コンポーネント出力
S映像出力

■ インターレース
プログレッシブ

インターレース：
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに選択します。(お買い上げ時の設定)

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとコンポーネント映像 /D 映像接続（☞24ページ）しているときに選択します。

- 「プログレッシブ」を選択してENTERボタンを押すと確認の画面が出ます。変更する場合は、ENTERボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

ご注意

- 「プログレッシブ」と「インターレース」を切り換えるとき映像が乱れることがあります。
- 「プログレッシブ」と「インターレース」を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。
- 映像出力端子、またはS映像出力端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続しているときは、「プログレッシブ」を選択しないでください。映像が出力されません。選択してしまったときは、以下の方法で「インターレース」に切り換えてください。

1. **本機をスタンバイ状態にする**
   電源が入っているときは、本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。
2. **本体の|◀◀ボタンを押しながら、STANDBY/ONボタンを押す**
   映像出力が「インターレース」に切り換わります。

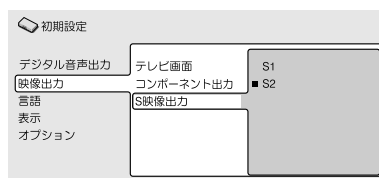
S映像出力を切り換える

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは「S1」を選択してください。

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション

テレビ画面
コンポーネント出力
S映像出力

S1
■ S2

S1：
S1映像信号が出力されます。

S2：
S2映像信号が出力されます。(お買い上げ時の設定)

■ 言語の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お客様が目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の「言語」にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

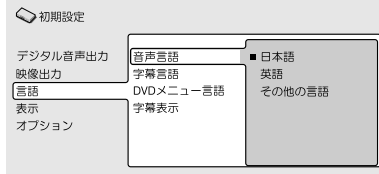
音声言語を設定する

音声言語を選びます。

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション

音声言語
字幕言語
DVDメニュー言語
字幕表示

■ 日本語
英語
その他の言語

日本語：
音声言語が日本語になります。(お買い上げ時の設定)

英語：
音声言語が英語になります。

その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは85ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENU（トップ メニュー）ボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、音声の言語を選択してください。

ヒント

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンで切り換えることもできます。ただし、設定内容を変更し記憶することはできません。

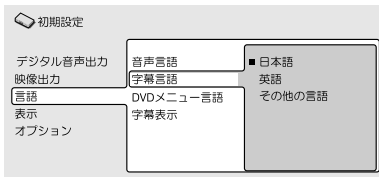
字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション

音声言語
字幕言語
DVDメニュー言語
字幕表示

■ 日本語
英語
その他の言語

日本語：
日本語の字幕を表示します。(お買い上げ時の設定)

英語：
英語の字幕を表示します。

その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは85ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

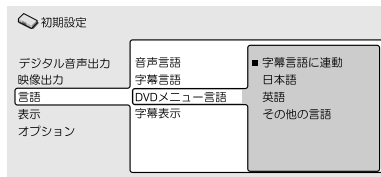
ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENUボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、字幕の言語を選択してください。

DVDのメニュー言語を設定する

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。

初期設定

デジタル音声出力	音声言語	■ 字幕言語に連動
映像出力	字幕言語	日本語
言語	DVDメニュー言語	英語
表示	字幕表示	その他の言語
オプション		

字幕言語に連動：
「字幕言語」で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。（お買い上げ時の設定）

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

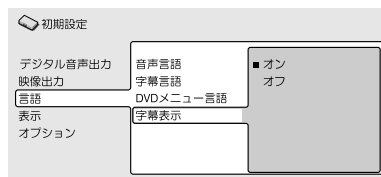
英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは85ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする

字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。

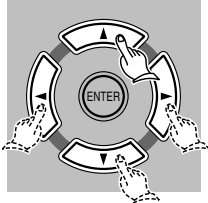
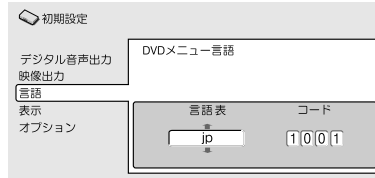
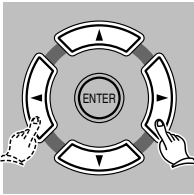
初期設定

デジタル音声出力	音声言語	■ オン
映像出力	字幕言語	オフ
言語	DVDメニュー言語	
表示	字幕表示	
オプション		

オン：
字幕を表示します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

■ 字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき

86ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに記録されていない言語を設定したときは、記録されているいずれかのメニュー画面が表示されます。

1

「その他の言語」を選んで、ENTER(エンター)ボタンを押す

2

◀/▶ボタンで「言語表」または「コード」を選び、ENTERボタンを押す

「コード」で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

例　フランス語を選ぶ場合

- 数字ボタンの0、6、1、8を押す
- 1桁ごとに▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押して桁を移動します）

「言語表」で言語を選ぶとき

例　フランス語を選ぶ場合

- ▲ボタンを2回押す

DV-SP501(78-92)(SN29343492)　85　03.5.19, 8:47 AM

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

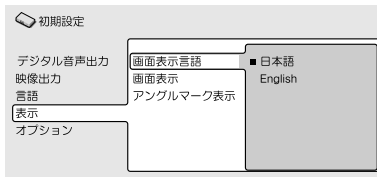
言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

■ 画面表示の設定

画面に表示される言語を切り換える

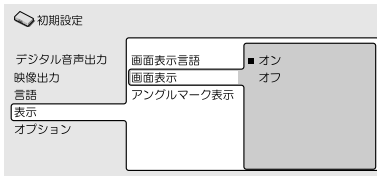
画面に表示される言語を日本語と英語に切り換えることができます。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
画面表示言語
画面表示
アングルマーク表示
■ 日本語
English

日本語：
画面に表示される言語が日本語になります。（お買い上げ時の設定）

English：
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示を「出す」「出さない」を切り換える

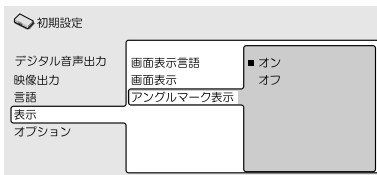
画面に「再生」「停止」などの表示を「出す」「出さない」を切り換えることができます。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
画面表示言語
画面表示
アングルマーク表示
■ オン
オフ

オン：
画面に操作表示を出します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
画面に操作表示を出しません。

アングルマーク（ ）を表示する

再生中に画面に表示される マークを表示させたくないとき設定を変更します。

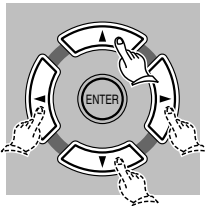
初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
画面表示言語
画面表示
アングルマーク表示
■ オン
オフ

オン：
画面に マークを表示します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
画面に マークを表示しません。

■ 視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクは再生することができません。レベル7のディスクを再生するためには、あらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで「オプション」→「視聴制限」→「暗証番号」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

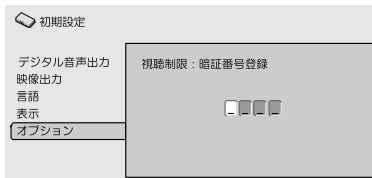
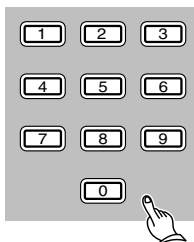
「暗証番号登録」の画面が表示されます。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
視聴制限：暗証番号登録
_ _ _ _

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと「レベル」、および「国コード」を選択することはできません。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
視聴制限
フォトビューワー
暗証番号
レベル変更
国コード

2

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す**
- **▲/▼ボタンで1ケタごとに数字を選ぶ（◀/▶ボタンでケタを移動します）**

3

ENTERボタンを押す

初期設定画面表示に戻ります。

ヒント

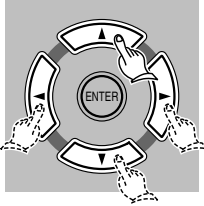
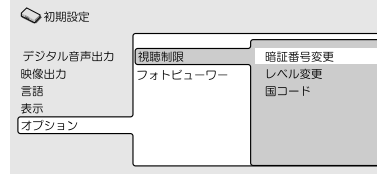
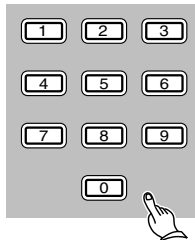
- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して（☞95ページ）、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。詳しくは、ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

暗証番号を変更するには

1

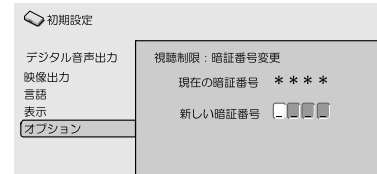
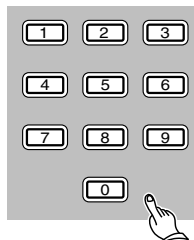
「暗証番号変更」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。

4

新しい暗証番号を4桁で入力する

視聴制限のレベルが設定されます。

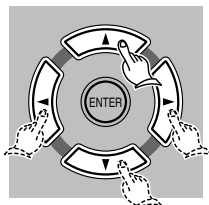
5

ENTERボタンを押す

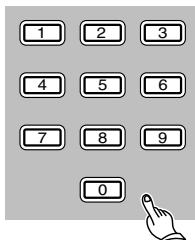
暗証番号が変更されます。

レベルを変更する

1

「レベル変更」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

「暗証番号入力」の画面が表示されます。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
視聴制限：レベル変更
暗証番号
1 2 3 4 5 6 7 8 オフ

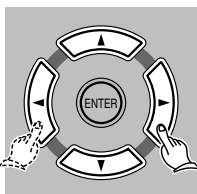
2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
視聴制限：レベル変更
暗証番号 ＊＊＊＊
1 2 3 4 5 6 7 8 オフ

4

◀/▶ボタンでレベルを選び、ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するには

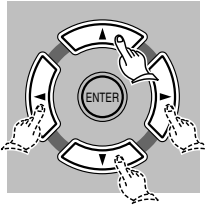
視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1 数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する

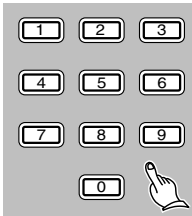
2 ENTERボタンを押す

国コードを変更する

次ページの国コード表を見ながら操作します。

1

「国コード」を選び、ENTERボタンを押す

「暗証番号入力」の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

国コード設定画面が表示されます。

4

「国コード表」、または「コード」を選ぶ

「コード」で国コードを選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。
例　日本を選ぶ場合

- **数字ボタンの1、0、1、6を押す**
- **▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押してケタを移動する）**

「国コード表」で国コードを選ぶとき

例　日本を選ぶ場合
▼ボタンで「jp」を選ぶ

5

ENTERボタンを押す

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

国コード表

	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn

	入力コード	国コード
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

■ JPEG（ジェイペグ）ファイルを再生するかどうかを設定する

JPEGファイルを再生するかどうかを設定することができます。

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
視聴制限
フォトビューワー
■ オン
オフ

オン：
JPEG 、JPEGファイルを再生するときに選択します。(お買い上げ時の設定)

オフ：
JPEG 以外のディスクを再生するときに選択します。JPEG と WMA/MP3 が混在しているディスクの WMA/MP3 を再生するときはこちらを選択します。

ヒント

［フォトビューワー］ の設定を変更したときは、一度ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電　源

参照ページ

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。　P28
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

ディスクの再生

ディスクの再生ができない

- ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
  ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに置いているか確認してください。　P36
- ディスクは汚れていないか確認してください。　P15
- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。　P10
- リージョン番号が本機に合っていないDVDビデオは再生できません。　P11
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除、またはレベル変更を行ってください。　P88
- 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。　P15

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、プログラム再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。
  P44～53，P59～65

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

各種設定

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源プラグは必ず本体のSTANDBY/ON、またはリモコンのSTANDBYを押して、表示部の「GOOD BYE」表示が消えてから抜いてください。

設定が変更できない

- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

映　像

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「初期設定」で設定してください。　P81
- 本機とテレビをS映像端子で接続している場合は、テレビ側の処理信号により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは「S映像出力」の設定を「S1」に設定してください。　P82

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。
- 一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換がとれていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

DV-SP501(93-100)(SN29343492)　93　03.5.19, 8:48 AM

困ったときは

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキまたはビデオ内蔵テレビ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。 P23

- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、適切な状態にしてください。

映像がテレビ画面にあらわれない

- 接続したテレビ、またはアンプの入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。
  この場合、▶ボタンを押して解除してください。 P38

- テレビのD1端子へ接続している場合は、プログレッシブを解除してください。 P23

音　声

再生しているディスクの音声が出てこない(アナログ接続、デジタル接続共通)

- 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。 P22～28

- 接続した機器の入力端子を間違えていないか確認してください。 P22～27

- 接続した機器の入力設定を間違えていないか確認してください。

- 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、▶ボタンを押して通常再生に戻してください。

- テレビまたはアンプ等のボリュームが最小になっていないか確認してください。

- 音声出力の設定が接続機器と合っていない。「セットアップナビゲーター」で設定してください。 P30

再生しているディスクの音声が出てこない（デジタル接続）

- 初期設定でデジタル出力がオフになっている。 P79

- 接続している機器が対応していない音声方式を再生している。 P79

- 接続している機器が96kHzPCM出力に対応していない場合は、初期設定で「96kHz>48kHz」を選択してください。 P80

音声がモノラル出力になっている

- ビデオCD再生時、AUDIOボタンを押して1/L(左)、2/R(右)に設定した場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、AUDIOボタンを押して、ステレオに設定してください。（注）映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。 P70

MP3/WMAの再生

MP3/WMAファイルを記録したディスクが再生できない

- 記録したディスクがISO9960に準拠しているか確認してください。 P12

- MP3/WMAファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。 P12

ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択できない

- 「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P12

- 本機では500以上のフォルダーまたは1000以上のトラックを認識できません。 P12

ディスクに記録されているトラック(WMAファイル)を選択できない

- 「.wma」または「.WMA」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P12

リ モ コ ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない

- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。 P17
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？ P17
- 本体のリモコン受光部に強い光(インバータ蛍光灯や直射日光)が当たっていませんか？ P17
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。 P17

そ の 他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていない。

システム機能が効かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません） P26

■ お買い上げ時の設定に戻すには

本機が誤動作する場合は、STANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを押して本機をスタンバイ状態にした後、■(ストップ)ボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。この操作を行うと設定した内容は全て消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

主な仕様

■総合

電源・電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	13W
質量	3.3kg
最大外形寸法	435（幅）× 81（高さ）× 307（奥行き）mm
許容動作温度	5°C～35°C
再生可能ディスク	DVDビデオ、DVD-R*、DVD-RW*、ビデオCD、CD、CD-R、CD-RW* ＊ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。

■オーディオ部

音声周波数特性（デジタル音声）	
DVDリニア	4Hz～20kHz（48kHzサンプリングレート） 4Hz～44kHz（96kHzサンプリングレート）
CDオーディオ	4Hz～20kHz
SN比	106dB以上
ダイナミックレンジ	96dB以上
全高調波歪率	0.008%以下
ワウ・フラッタ	測定限界［±0.001%（W. PEAK）、EIAJ］以下
音声出力（光デジタル音声）	−22.5dBm、光デジタル端子×2
音声出力（同軸デジタル音声）	0.5 V(p-p)、75Ω、ピンジャック×1
音声出力（2チャンネルアナログ音声）	2.0 V(rms)、470Ω、ピンジャック(L、R、MONO)×1

■ビデオ部

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
映像出力/インピーダンス	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像出力/インピーダンス	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1 (C)0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1出力	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω (PC/CB)、(PR/CR)0.7V(p-p)、75Ω、D端子×1

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成している。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたもの。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータ。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。
単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。
この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できる。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、１枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中に■（ストップ）ボタンを押した位置を記憶し、▶（プレイ）ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

用語集

CD-R（Compact Disc-Recordable）
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。
片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVD-R（Digital Versatile Disc-Recordable）
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマット。

DVD-RW（Digital Versatile Disc-ReWritable）
書き換え可能なDVDフォーマット。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオCDはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されている。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はMPEG-1と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つ。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

WMA
「Windows Media™ Audio」の略で、Windows Media Player Ver.8、または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　DV-SP501
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 072(831)8080

SN 29343492

G0305-1